

# 小林市国際化・多文化共生推進計画

令和2(2020)年

小 林 市

第1章 小林市国際化・多文化共生推進計画の概要.....	1
1 計画策定の趣旨 .....	1
2 計画の位置付け及び推進期間.....	1
第2章 小林市の国際化の現状と課題.....	3
1 小林市を取り巻く国際化の現状.....	3
(1) 少子高齢化と人口減少	
(2) 在留外国人数の状況	
2 学校教育における国際化の現状と課題.....	12
3 国際化に向けた取組を実施する団体等の活動の現状と課題.....	14
第3章 国際化・多文化共生推進施策の基本的な方針 .....	15
1 基本的な方針.....	15
2 国際化推進施策の体系.....	16
第4章 国際化・多文化共生推進施策の具体的な取組.....	17
1 市民の国際感覚の醸成.....	17
(1) 人材の育成	
(2) 国際交流の推進	
2 外国人市民への支援.....	18
(1) 外国人市民の生活支援	
(2) 外国人市民の地域社会への参画の推進	
3 国際化推進体制の構築.....	20
(1) 国際化推進のための環境づくり	
資料編 .....	21
小林市国際化・多文化共生推進計画の策定経緯.....	22
小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議設置要綱.....	24
小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議設置要綱.....	27
小林市国際化推進に係る外国人向けアンケート調査結果.....	29

# 第1章 小林市国際化・多文化共生推進計画の概要

## 1 計画策定の趣旨

近年、日本国内の在留外国人の数は増えており、平成20年(2008年)は221万人、平成29年(2017年)は256万人と10年間で約34万人増加しています。(\*1)

宮崎県においては、平成20年(2008年)は4,162人、平成29年(2017年)は5,783人と10年間で1,621人増加しています。(\*2) さらに、小林市で見ると、平成20年(2008年)は243人(\*3)、平成29年(2017年)は470人(\*4)と10年間で約2倍(227人)の増加となっています。

また、日本を訪れる外国人観光客数も増加傾向にあり、宮崎県における外国人宿泊客は平成20年(2008年)が85,241人、平成29年(2017年)が225,914人(\*5)と、この10年で約2.6倍(140,673人)に増えています。一方、本市における平成30年度(2019年度)の外国人観光客数は7,634人となっており、一定数の観光客が訪れています。(\*6)

このように本市内においても外国人と接する機会が増えていく現状において、わたし達市民は、お互いの文化や考え方を理解し、違いを尊重し合うことが重要です。

市民一人ひとりの理解、協力のもと、官民一体となって(協働によって)国際化施策を効果的に展開し、本市のめざす将来都市像「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかどこ 小林市」の実現を図るために小林市国際化・多文化共生推進計画を定めます。

\*1) 在留外国人統計(旧登録外国人統計)(法務省)

\*2) 「平成30年度宮崎県の国際化の状況」(宮崎県商工観光労働部観光経済交流局オールみやざき営業課)

\*3) 「2012(平成24)年度版 小林市統計書」(小林市)

\*4) 「2019(平成30)年度版 小林市統計書」(小林市)

\*5) 「平成30年度宮崎県の国際化の状況」(宮崎県商工観光労働部観光経済交流局オールみやざき営業課)

\*6) 「観光入込客数等調査票」(小林市)

## 2 計画の位置付け及び推進期間

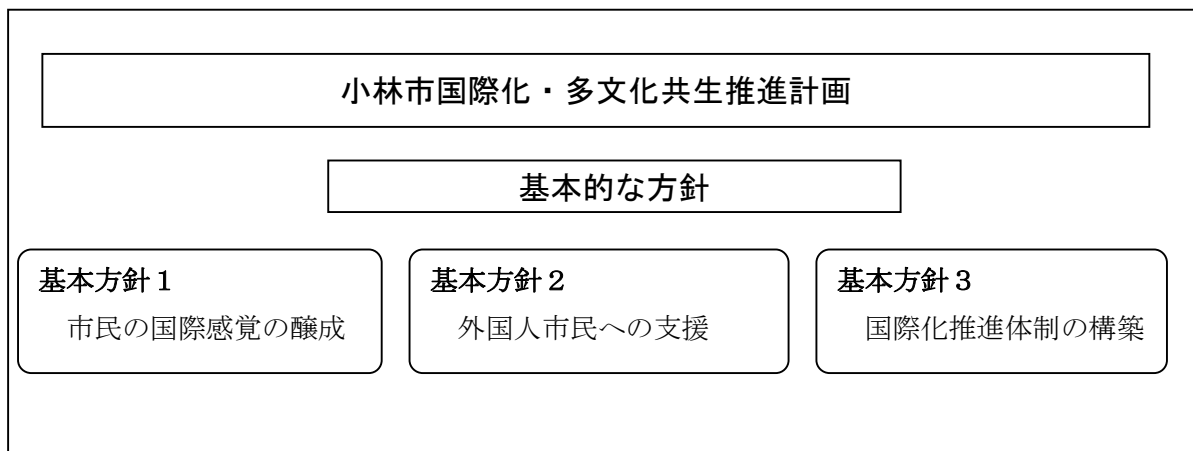
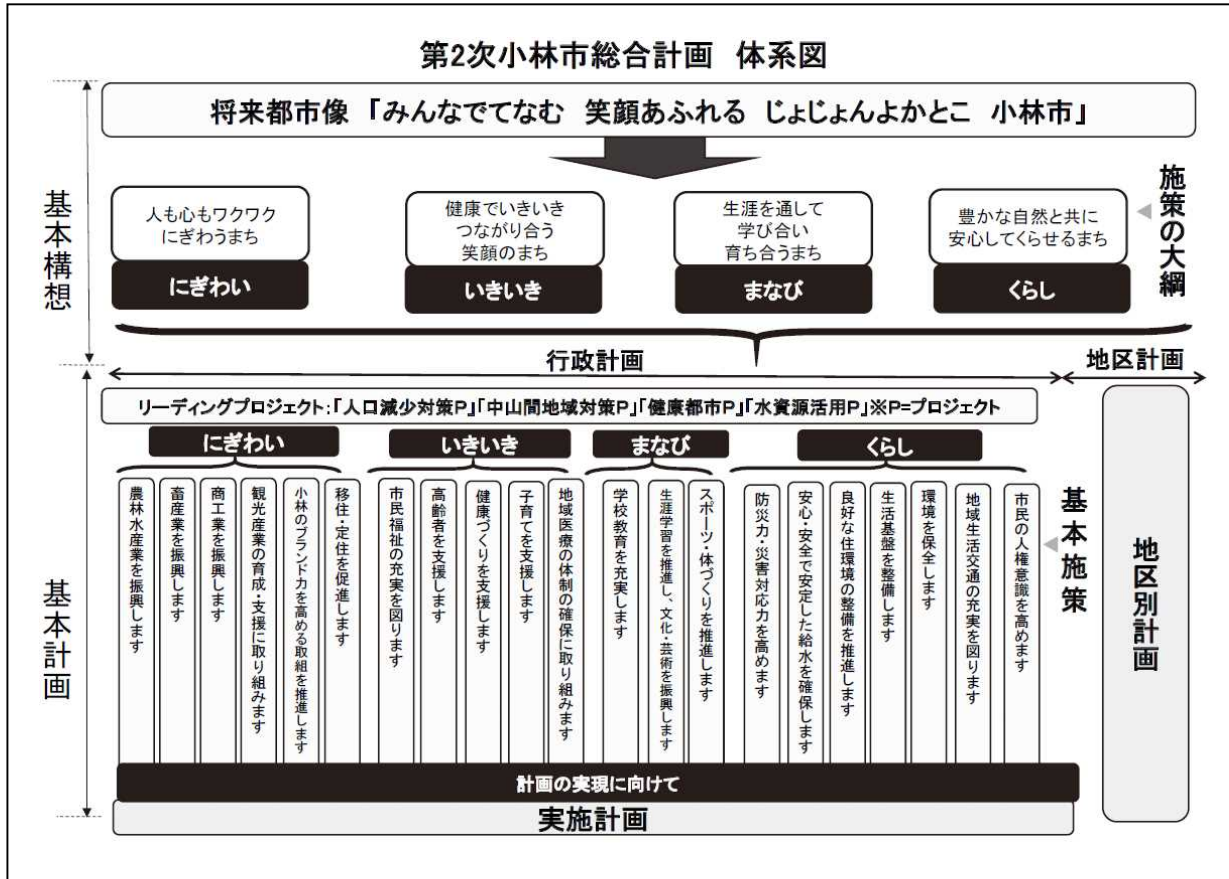
この計画は、第2次小林市総合計画を上位計画とする個別計画であり、今後の本市の国際化・多文化共生施策に関する基本的な方向性を定めるものです。

第2次小林市総合計画の基本構想は、令和7年度(2025年度)を目標とした構想として、長期的な視点に立って本市の将来の姿を展望し、その実現に向けての基本的な考えを示した市政の総合的かつ計画的な経営指針となるものです(\*7)。このため、本計画においても、令和元年度(2019年度)から令和7年度(2025年度)までの7年間に取り組むべき方向性を示します。

なお、期間が終了する前であっても、社会情勢の大きな変化など必要が生じた場合には見直しを行います。

\*7) 現在、総合計画の個別計画である小林市国際化推進方針を本計画へ替えるものです。

小林市総合計画の実施計画としての位置づけ【図】



## 第2章 小林市の国際化の現状と課題

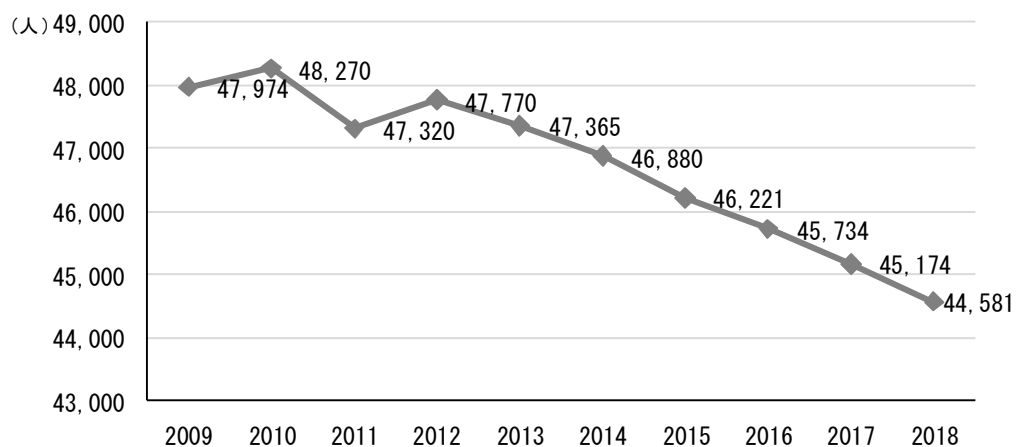
### 1 小林市を取り巻く国際化の現状

#### (1) 少子高齢化と人口減少

本市の人口は、平成21年(2009年)の約48,000人から、平成30年(2018年)には約44,000人に減少しており、今後も、少子高齢化及びそれに伴う人口減少が進むと予想されています。(図1)

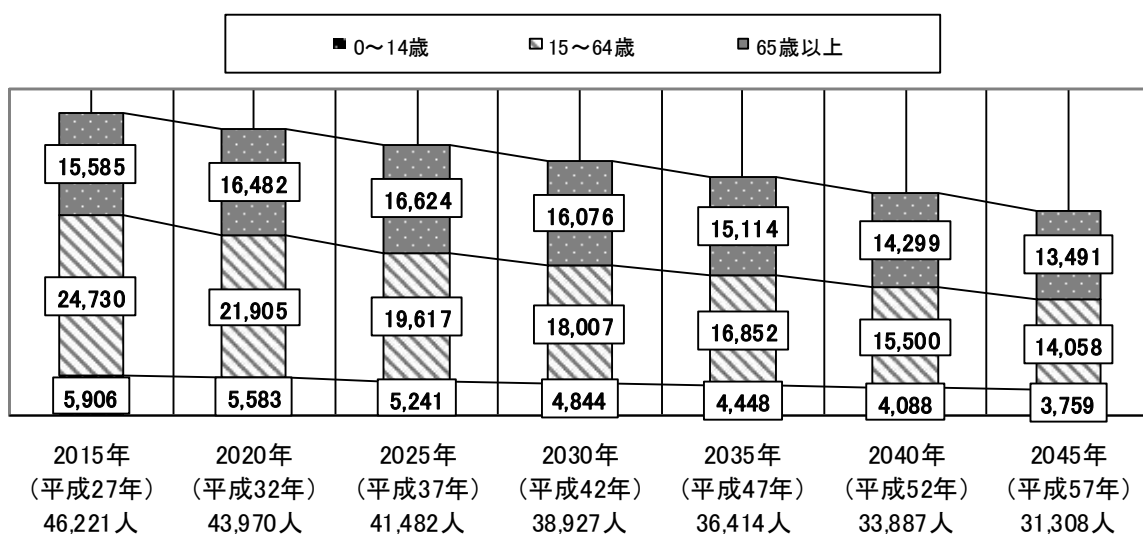
また、15～64歳のいわゆる生産年齢人口の減少が進み、深刻な担い手不足に直面すると考えられます。(図2)

図1 小林市の人口の推移



「小林市の人口推移」(小林市)

図2 小林市の将来推計人口



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」から作成

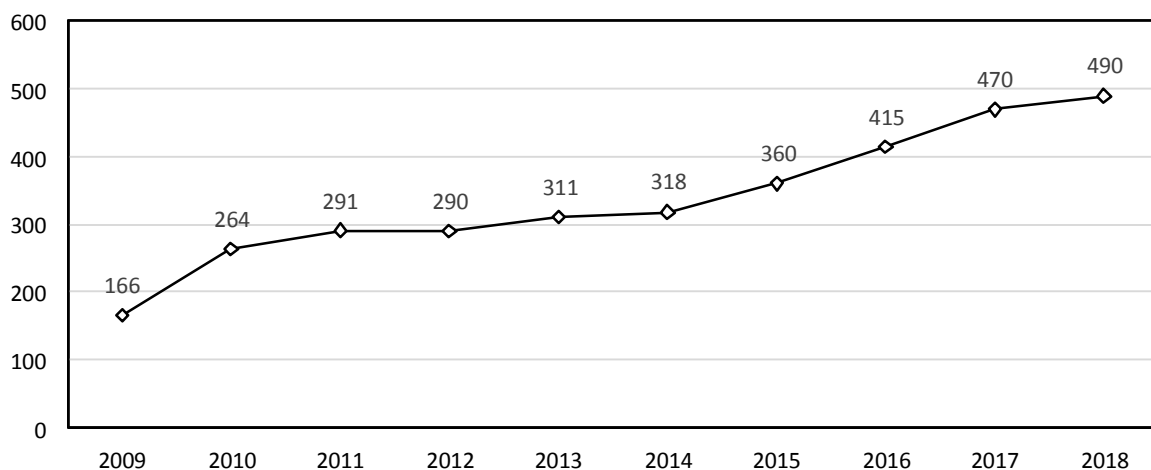
## (2) 在留外国人数の状況

### ① 在留外国人数の推移

市全体の人口が減少するなか、本市における在留外国人数（\*1）は平成21年(2009年)が259人、平成30年(2018年)が493人と、この10年で約2倍に増加しており、この傾向は今後も続くものと考えられます。（図3）

\*1)：平成23年以前は、旧外国人登録法に基づいて自治体に外国人登録をしていた人の数。

図3 小林市における在留外国人数の推移

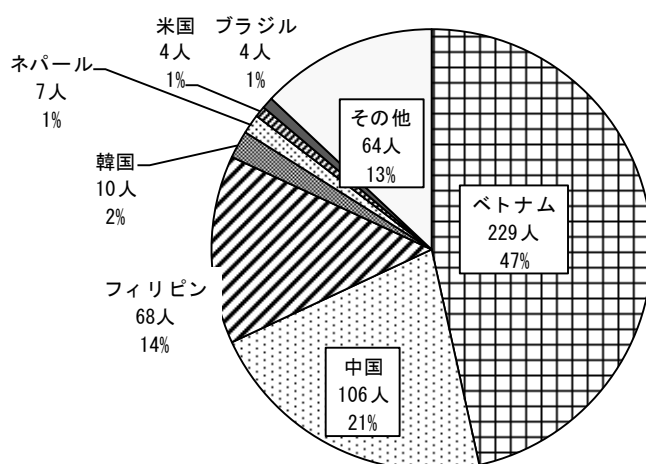


「住民記録外国人国籍・地域別人員集計表」から作成

### ② 国籍から見る在留外国人数

本市における在留外国人数は、国籍別にベトナム（229人）、中国（106人）、フィリピン（68人）の順に多くなっています。（図4）

図4 国籍別在留外国人数（平成30年(2018年)11月1日現在）

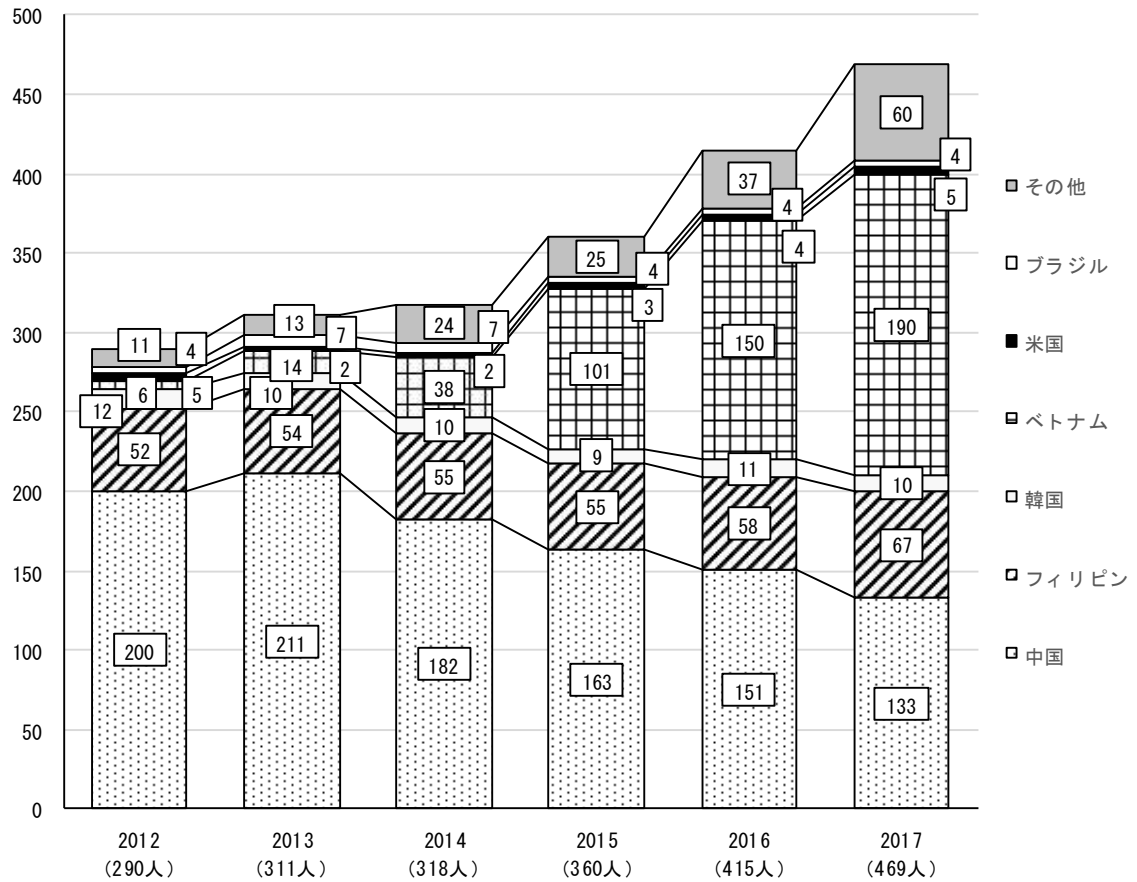


「住民記録外国人国籍・地域別人員集計表」（小林市）から作成

平成 28 年(2016 年)以降、特にベトナム国籍の外国人が増加しています(図 5)。この一因として、企業における外国人技能実習生の増加などが考えられます。

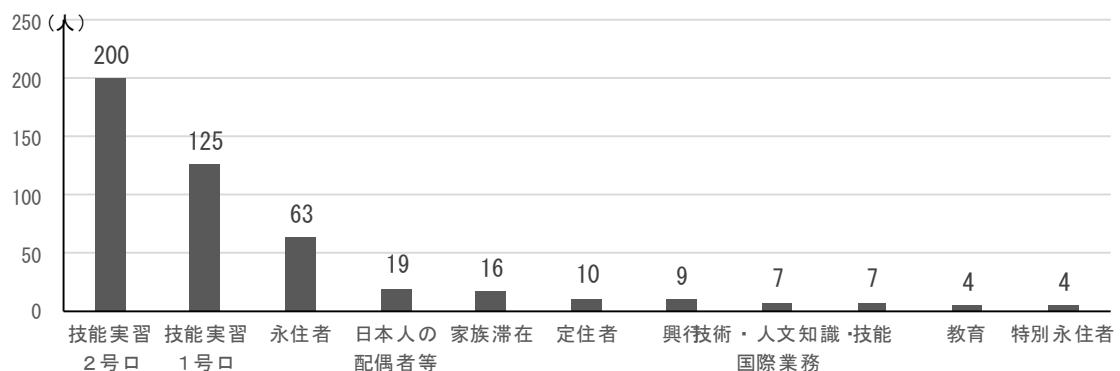
今後も、企業の人材受け入れの増加により、東アジア諸国との交流がさらに活発化していくことが予想されます。

図 5 国籍別在留外国人数の推移



法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表」から作成

図 6 小林市の在留資格別在留外国人数(平成 29 年(2017 年))



小林市市民課調べ

### ③ 在留資格から見る在留外国人数

本市における在留外国人数を在留資格別でみた場合、「技能実習」（325人）で滞在している外国人が多い一方で、「永住者」（63人）、「日本人の配偶者等」（19人）など、将来にわたり長く日本で生活する見込みがある外国人が一定数いることが分かります。（図6）

### ④ 在留外国人の雇用環境

少子高齢化に加え、進学・就労等に伴う都市部への人口流出により深刻さが増す労働力不足については、平成30年の出入国管理及び難民認定法の改正により、今後、地方においても外国人労働力の受け入れが拡大すると見込まれます。

しかし、不慣れな環境で働く外国人の雇用環境をめぐっては、最低賃金を下回る賃金での就労や日本語支援が十分でないために生じる失踪によるオーバースティなど問題が生じることも予想され、外国人の安定した就業を支援する必要があります。

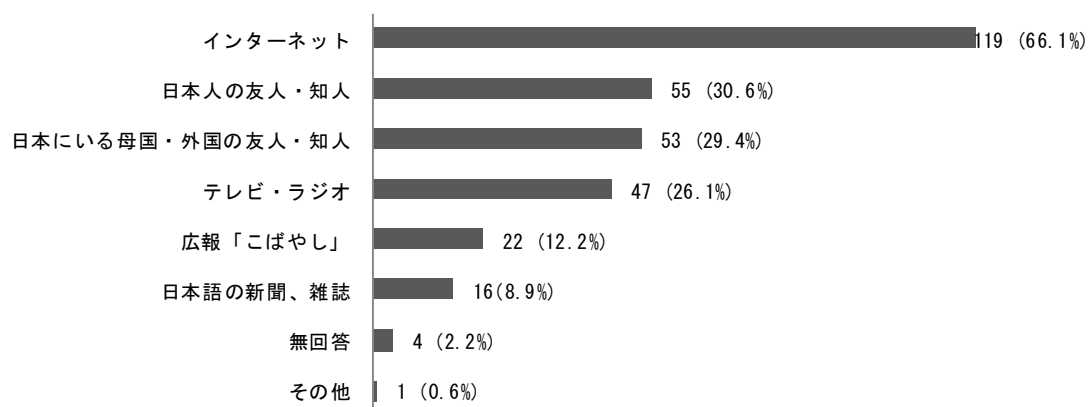
## （3）小林市国際化推進に係る外国人向けアンケート

誰もが住みやすい「多文化共生のまちづくり」と「国際化」を推進するため、外国人市民を対象としたアンケートを平成29年8月30日から9月19日までの期間で実施しました。その結果、以下のような現状・課題が把握されました。

### ■情報の入手先

小林市での生活に必要な情報の入手先について、「インターネット」が66.1%で最も多く、以下、「日本人の友人・知人」が30.6%、「日本にいる母国・外国の友人・知人」が29.4%などとなっています。

図7-1 小林市での生活に必要な情報の入手方法は？（3つまで）

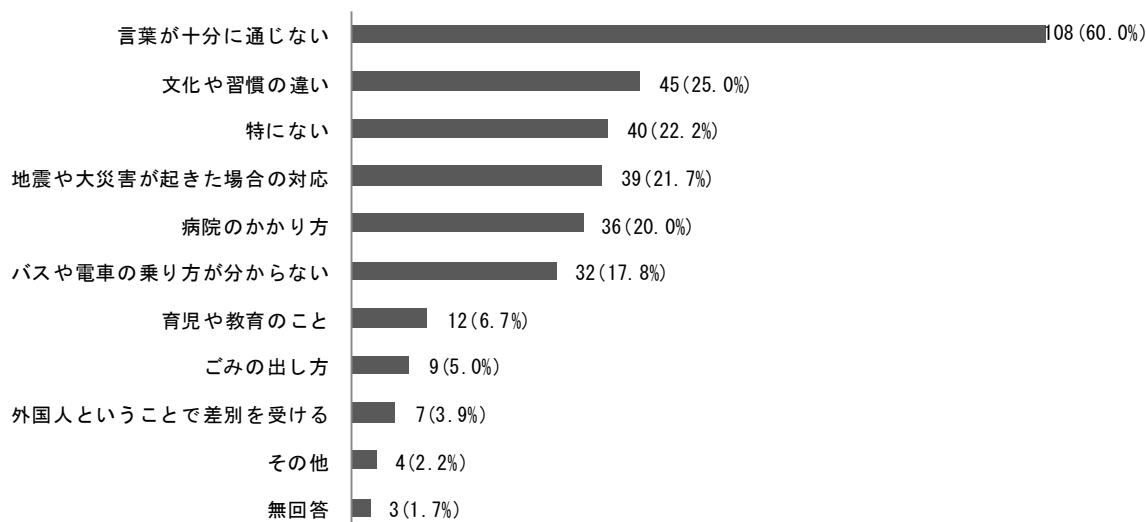




## ■ 普段の生活で困っていること心配なこと

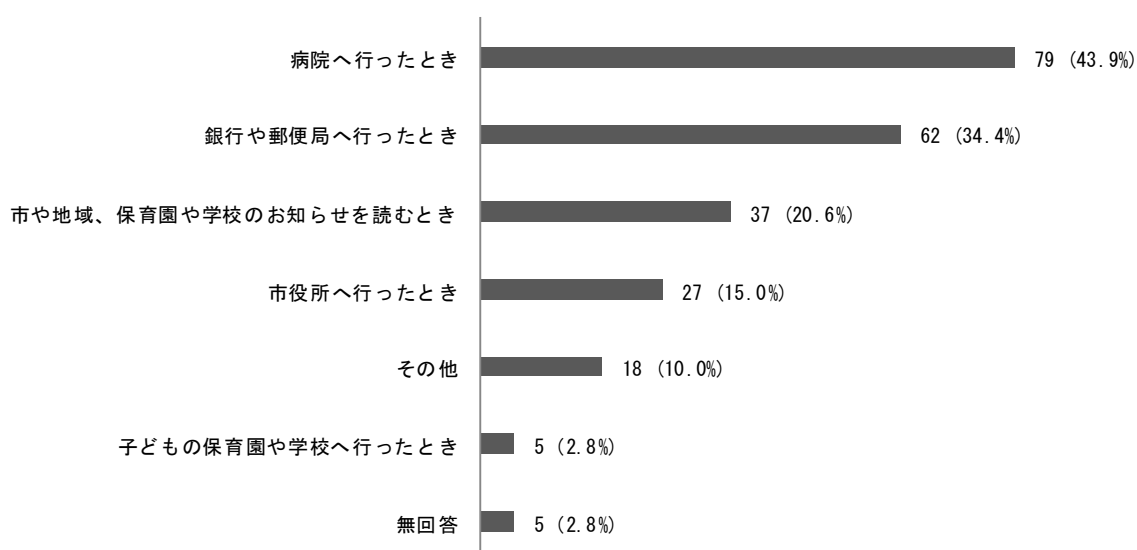
普段の生活で困っていること心配なことについて、「言葉が十分に通じない」が60.0%で最も多く、以下、「文化や習慣の違い」が25.0%、「地震や大災害が起きた場合の対応」が21.7%などとなっています。

図7-2 普段の生活で困っていることや、心配なことは？（複数回答）



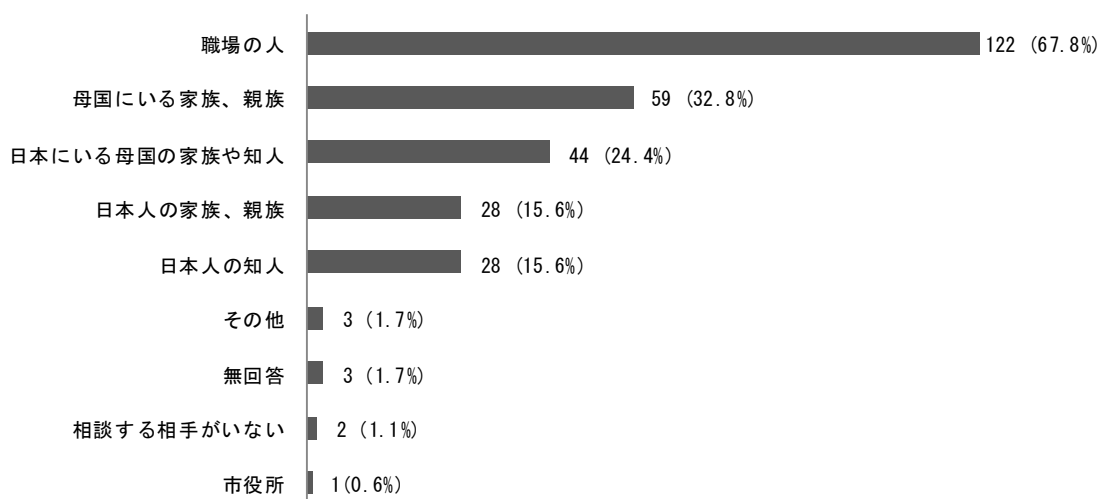
普段の生活で困っていることや心配なことについて「言葉が十分に通じない」と回答した人のうち、「どんな時に言葉が通じなくて困るか」という問いに、43.9%の人が「病院へ行ったとき」、34.4%の人が「銀行や郵便局へ行ったとき」、20.6%の人が「市や地域、保育園や学校のお知らせを読むとき」と回答しました。

図7-3 どんな時に言葉が通じなくて困りますか？（複数回答）



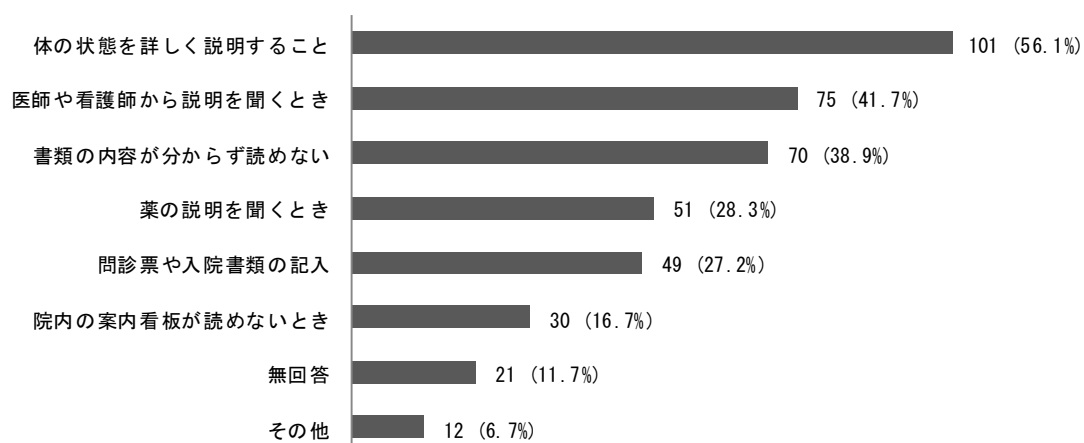
困ったことや心配なことがあったとき誰に相談するかについて、「職場の人」が67.8%で最も多く、以下、「母国にいる家族、親族」が32.8%、「日本にいる母国の家族・知人」が24.4%などとなっています。

図7-4 困ったことや心配なことがあったときは、誰に相談しますか？（複数回答）



病院に行ったとき困ったことや不安を感じたことについて、「体の状態を詳しく説明すること」が56.1%で最も多く、以下、「医師や看護師から説明を聞くとき」が41.7%、「書類の内容が分からず読めない」が38.9%などとなっています。

図7-5 病院に行ったとき、困ったことや不安を感じたことはありますか？（5つまで）



市の広報紙など市から届くお知らせを読んでいるかについて、「はい」が29.4%、「ときどき」が32.8%、「いいえ」が32.8%でした。「いいえ」と回答した人の読まない理由としては、「日本語がわからない」が67.8%で、以下、（自治会に加入していないため）「市の広報が来ない」が28.8%などとなっています。

図7-6 市の広報紙など、市から届くお知らせを読んでいますか？

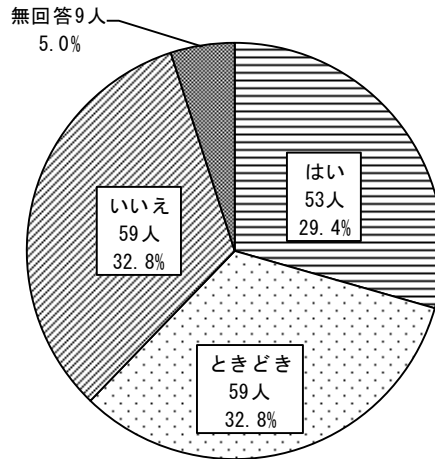
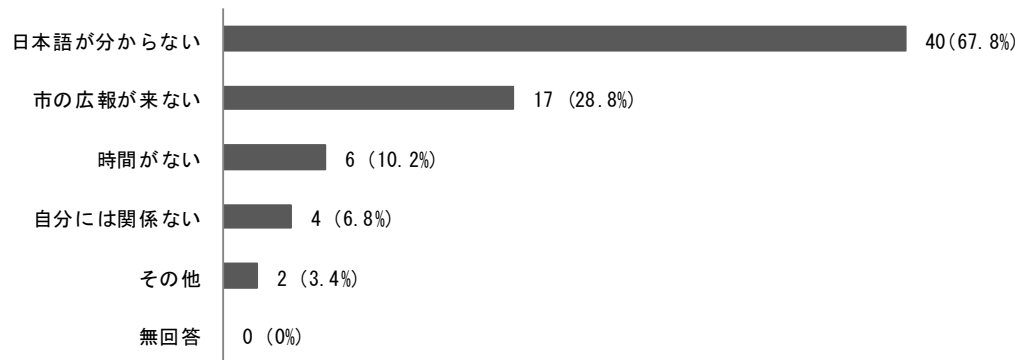
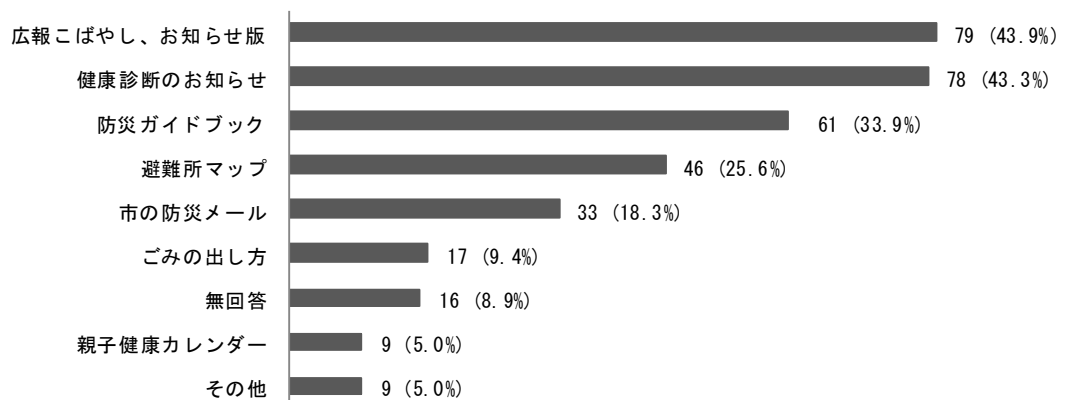


図7-6-2 読まない理由は何ですか？



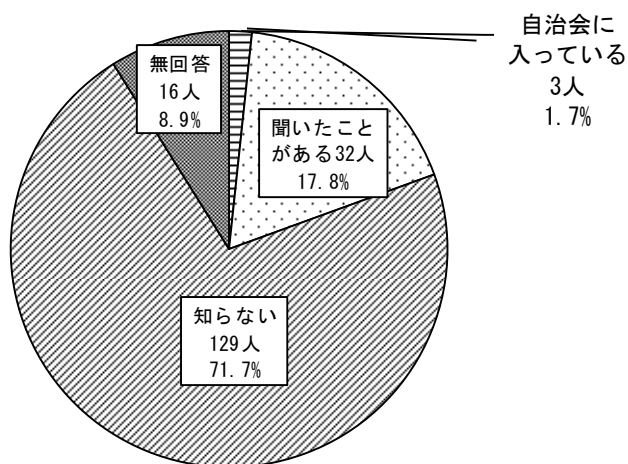
「市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは」という問いに、「広報こぼやし、お知らせ版」が43.9%、「健康診断のお知らせ」が43.3%、「防災ガイドブック」が33.9%などとなっています。

図7-7 市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは？  
(3つまで)



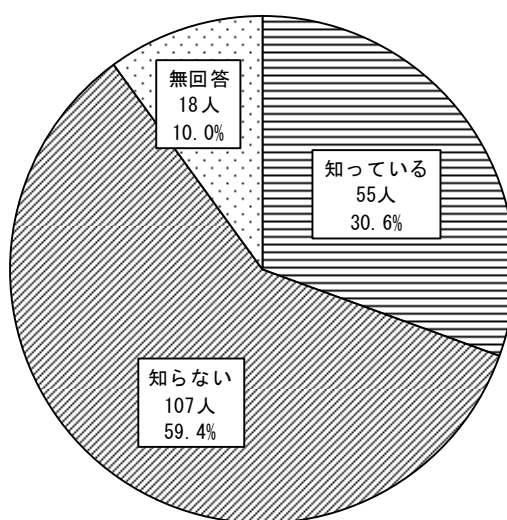
自治会を知っていますかという問いに、71.7%が「知らない」と回答しており、「実際に自治会に入っている」は1.7%にとどまっています。

図7-8 自治会を知っていますか？



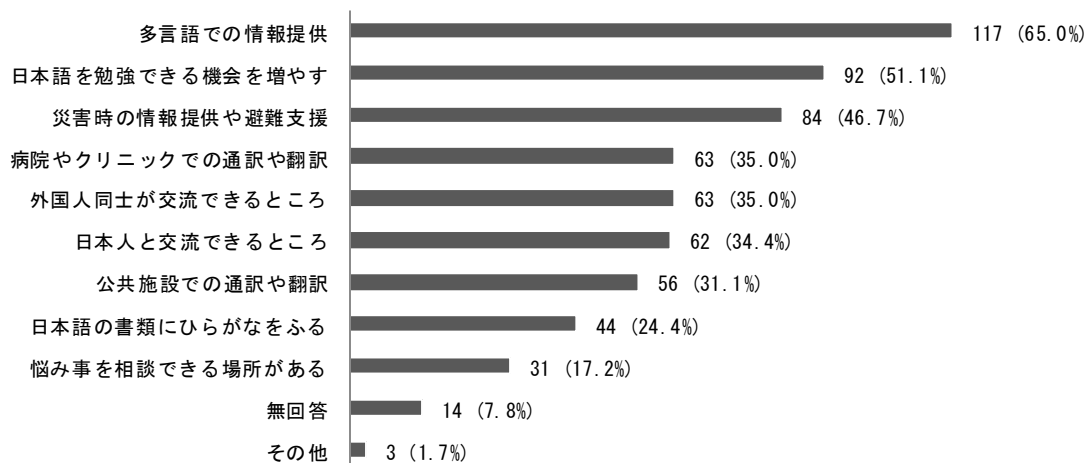
自分の家の近くの避難所を知っているかについて、59.4%が「知らない」と回答し、「知っている」は30.6%となっています。

図7-9 自分の家の近くの避難所を知っていますか？



外国の方にも暮らしやすい小林市にするために必要なことについて、「多言語での情報提供」が65.0%と最も多く、以下、「日本語を勉強できる機会を増やす」が51.1%、「災害時の情報提供や避難支援」が46.7%などとなっています。

**図7-10 外国の方にも暮らしやすい小林市にするために必要だと思うことは？**  
(複数回答)



## 2 学校教育における国際化の現状と課題

国際化の進展に対応できる人材を育成するためには、若い世代から国際感覚を育むための環境を整備することが重要です。

このため、本市では、小・中学校において国際交流員（C I R）や外国語指導助手（A L T）による国際理解教育や英語を中心とした外国語教育を推進し、国際化に関する教育の充実を図っています。

令和2年（2020年）から実施される小学校学習指導要領の改訂に伴い、本市内の公立小学校でも5～6年生に外国語科が、3～4年生に外国語活動が正式に導入されます。これにより、外国語によるコミュニケーションの見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指します。その背景には、グローバル化が進み、社会環境・雇用環境の大きな変化が進む社会に対応しうる人材を育て、これからの時代を生き抜く力を育てるという目標があります。

一方、近年、外国人永住者が家族を伴って日本国内で居住する機会が増加し、日本語指導が必要な児童生徒に対する支援の充実も図る必要が高まっています。

宮崎県内全域で見えますと、少数ではあるものの日本語指導が必要な児童生徒の受入があり、少人数が広範囲に散在する「地域散在型」で在籍し（表1）、これらの児童生徒の母語は日本語以外であることが分かります（表2、表3）。

表1 県内における日本語指導が必要な児童生徒の学校種別在籍状況 (人)

	小学校		中学校		高等学校		合計	
	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	児童数	学校数
外国籍	31	11	16	9	0	0	47	20
日本国籍	4	4	4	4	0	0	8	8

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」より作成

表2 県内における日本語指導が必要な外国籍児童生徒の母語別在籍状況 (人)

	英語	韓国語	フィリピン語	中国語	その他	合計
外国籍	7	0	3	7	30	47

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」より作成

表3 県内における日本語指導が必要な日本国籍児童生徒の言語別在籍状況 (人)

	日本語	英語	韓国語	フィリピン語	中国語	その他	合計
日本国籍	1	1	0	3	2	1	8

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」より作成

本市においては、令和元年（2019年）現在、日本語指導が必要な児童生徒が数名在籍しています。これらの児童生徒の受け入れに当たって、個々の実態を的確に把握し、当該児童生徒が自信や誇りをもって学校生活を送ることができるよう配慮していく必要があります。

### 3 国際化に向けた取組を実施する団体等の活動の現状と課題

平成 22 年度(2010 年度)実施の「宮崎の国際化に関する県民アンケート調査」(宮崎県)によると、「国際化」と聞いて思いつくことは、「芸術、文化、スポーツなどの国際交流が盛んになる」(66.6%)、「外国の文化や生活習慣などへの理解が深まる」(57.7%)、「海外への企業進出、海外からの企業誘致などの企業活動が盛んになる」(43.4%)、「日本を訪れる外国人が増える」(40.4%)という回答となっています(複数回答可:5つ以内)。

同アンケートの中で、国際化を推進する上で重点的に取り組むべきこととして、「国際交流・協力活動を担う人材・団体の育成」(55.4%)、「スポーツ・文化交流」(52.4%)、「学校教育における国際理解教育の促進」(44.4%)という回答となっています。

市内の国際交流に関する市民活動団体は、小林市が把握しているもので、令和元年度(2019 年度)現在 3 団体あり、それぞれの団体でそれぞれの活動を展開しています。今後は、そのような市民団体の力を最大限に活かし、それらの人材や団体のネットワークを構築するとともに、広く市民に国際化理解活動への参加機会を提供し、新たな人材の育成や活動が広がっていくよう環境整備をしていく必要があります。そのためには国際理解や多文化共生に関する様々な情報を収集・提供できる拠点整備も必要となっています。

また、本市の観光については、観光庁の日本版DMO法人の登録を受けたDMO法人が主体となり、外国人観光客の誘致に向けたプロモーション活動や着地型観光ツアーの造成・販売など進めています。これらの活動による外国人対応への取組に支援が必要です。



## 第3章 国際化・多文化共生推進施策の基本的な方針

### 1 基本的な方針

本市の外国人市民は、増加傾向にあり、県内においても宮崎市、都城市に次いで3番目となっています。本市のみならず全国的な傾向である少子高齢化と生産年齢人口の減少と、このことを背景とした「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」の施行により、外国人市民は今後ますます増加すると見込まれます。

また、一方でグローバル化が進む国際社会の進展に的確に対応していくためには、お互いの文化、考え方の違いを理解し、その違いを尊重しあうことができるような国際感覚豊かな人材の育成が急務です。

国際化及び多文化共生を進めることは、グローバル社会に対応できる人材を育成し、ひいては、多様な市民による持続可能なまちをつくることです。

文化・言語の異なる外国人市民と地域で共に生活していくことができるよう、更には、本市を訪れる外国人が快適で充実した生活を送ることができるように国際化・多文化共生社会に対応した環境及び情報提供体制の整備を進め、必要に応じた情報を提供できる体制を整えることに努めます。

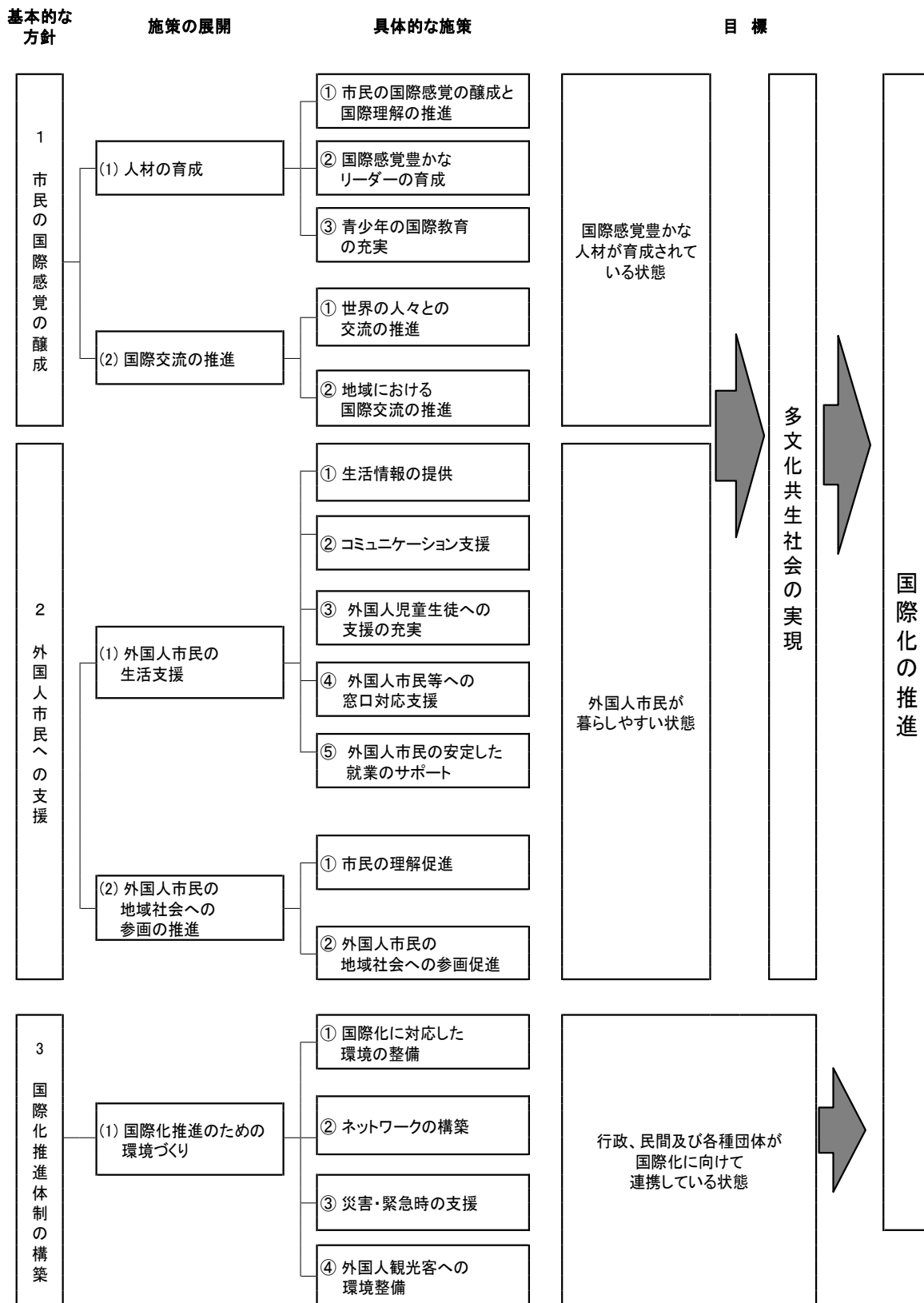
そのため、本市の国際化の現状や課題を踏まえ、今後推進すべき施策の基本的な方針として次の3つを設定し、具体的な施策の展開を図ります。

■基本方針1 市民の国際感覚の醸成

■基本方針2 外国人市民への支援

■基本方針3 国際化推進体制の構築

## 2 国際化推進施策の体系



## 第4章 国際化・多文化共生推進施策の具体的な取組

### 1 市民の国際感覚の醸成

国際化の進展に的確に対応していくためには、異なる文化や考え方を理解し、その違いを尊重しあうことが重要です。国際理解のための取組を充実させ、国際的な舞台や地域社会で活躍できる国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

#### (1) 人材の育成

##### ① 市民の国際感覚の醸成と国際理解の推進

- ・ 広報紙、SNS等を活用して、国際化に関する情報を発信します。
- ・ 国際理解のため各種イベントや講座等を実施します。

##### ② 国際感覚豊かなリーダーの育成

- ・ 地域において国際化及び多文化共生を推進する人材を育成するための研修を行います。

##### ③ 青少年の国際理解教育の充実

- ・ 国際交流員(CIR)や外国語指導助手(ALT)を活用し、英語をはじめとした外国語や文化などを学ぶ国際理解教育を充実させます。
- ・ 子ども達が地域の伝統や文化を理解し、自ら表現できるような教育を推進します。
- ・ 外国人市民との交流を通じた異文化やコミュニケーション方法を学ぶ機会を創出するなど、グローバルな視点を持った人材の育成を図ります。

#### (2) 国際交流の推進

##### ① 世界の人々との交流の推進

- ・ 諸外国との歴史・文化・経済・スポーツ等を通じた交流の促進を図ります。

##### ② 地域における国際交流の推進

- ・ 国際交流やイベントなど地域の行事等に外国人市民の参加を促すなど国際交流機会の増加を図ります。

## 2 外国人市民への支援

外国人市民は、就労や婚姻など様々な理由・きっかけから、この小林市で生活しています。これらの人の中には、日本語でのコミュニケーションが苦手であったり、日本の文化や習慣に慣れていないなどの理由で、教育・労働・医療・福祉・防災など様々な面で不安を感じながら生活している人も少なくありません。

このような不安を取り除き、誰もが安心して快適に暮らせる小林市を実現するための支援が必要です。

また、外国人市民も地域社会を支える一員であることから、積極的に地域活動に参画できるよう環境の整備が必要です。

### (1) 外国人市民の生活支援

#### ① 生活情報の提供

- ・外国人市民が必要とする生活情報の分かりやすい発信に努めます。

#### ② コミュニケーション支援

- ・日本人市民と外国人市民が互いに理解を深め、円滑に交流できるよう支援するため、日本語交流員の育成を図ります。
- ・外国人市民の生活を支えるため、日本語習得を支援するとともに、その背景となる日本の文化や習慣について理解を深めるための支援を行います。
- ・日本人市民が外国人市民の文化や宗教などへの理解を深めるための支援を行います。

#### ③ 外国人児童生徒への支援の充実

- ・外国人児童生徒にとって日本語能力は、日本における生活を支える基礎となるため、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対する支援の充実を図ります。

#### ④ 外国人市民等への窓口対応支援

- ・翻訳機や対応マニュアルの活用等、市窓口業務での外国人対応の充実を図ります。

#### ⑤ 外国人市民の安定した就業のサポート

- ・外国人市民を受け入れている企業や関係機関と連携し、雇用環境の状況等について実態の把握に努め、必要な支援を図ります。

## (2) 外国人市民の地域社会への参画の推進

### ① 市民の理解促進

- ・多文化共生に関する研修会を開催するなど、日本人市民と外国人市民が共生する環境づくりを推進します。

### ② 外国人市民の地域社会への参画促進

- ・外国人市民に地域の情報を分かりやすく提供するとともに、小林市民として地域やまちづくりの活動へ積極的に参画するよう機運の醸成を図ります。

### 3 国際化推進体制の構築

本市における国際化の一層の推進を図るためには、多文化共生社会づくりを推進するとともに、観光・経済分野での交流拡大を図ることが重要です。

これらの施策を効率的に進める上で必要となる基盤の構築を進めます。

#### (1) 国際化推進のための環境づくり

##### ① 国際化に対応した環境の整備

- ・ 公共施設における案内表示や行政・生活情報について、多言語での提供に努めます。

##### ② ネットワークの構築

- ・ 外国人市民のための交流の場を設けるなど、外国人市民のネットワークの構築を促進します。

##### ③ 災害・緊急時の支援

- ・ 防災情報や避難情報を多言語で提供するなど、災害時や緊急時に外国人の安全を確保するための体制づくりを図ります。

##### ④ 外国人観光客への環境整備

- ・ 外国人観光客に配慮した観光地域づくりを推進するため、案内看板やホームページなどの多言語表記の推進や事業所等を対象としたインバウンド対応の研修会などの実施に努めます。

# 資料編

## 小林市国際化・多文化共生推進計画の策定経緯

年月日	内容
平成 29 年(2017 年) 8 月～9 月	<p>■小林市在住外国人意識調査■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：本市における外国人の暮らしやすさの現状と課題を把握するため。</li> <li>・対象：住民基本台帳に登録されている 19 歳以上の外国人市民（平成 29 年 6 月末時点 455 人）</li> </ul>
平成 30 年(2018 年) 12 月	<p>■外国人材の受入れ・共生のための総合的対応■（関係閣僚会議決定）</p>
平成 31 年(2019 年) 4 月	<p>■出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」施行■</p>
令和元年（2019 年） 6 月	<p>■「みやざきグローバルプラン」（宮崎県）策定■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやざきグローバル戦略（推進期間：平成 28～30 年度）」と「みやざき国際化推進プラン（推進期間：平成 23～32 年度）」を統合した計画の策定</li> </ul>
令和元年（2019 年） 7 月 4 日	<p>■関連告示の施行■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議設置要綱」</li> <li>・「小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議設置要綱」</li> </ul>
令和元年（2019 年） 9 月 27 日	<p>■第 1 回小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議兼第 1 回小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議・専門部会■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画素案協議</li> </ul>
令和元年（2019 年） 10 月 11 日	<p>■第 1 回小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画素案協議</li> </ul>



年月日	内容
令和元年（2019年） 10月28日	<p>■第2回小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議・専門部会■</p> <p>・修正案協議</p>
令和元年（2019年） 11月12日	<p>■第2回小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議■</p> <p>・修正協議</p>
令和元年（2019年） 11月18日	<p>■第7回行政経営会議■</p> <p>・パブリックコメント案審議</p>
令和元年（2019年） 12月10日	<p>■令和元年第5回小林市議会定例会総務文教委員会への説明■</p>
令和2年（2020年） 1月～2月	<p>■パブリック・コメント■</p> <p>・期間令和元年1月7日～2月7日（予定）</p>
令和2年（2020年） 2月上旬	<p>■第3回小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議兼第1回小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議・専門部会■</p> <p>・パブリック・コメント反映案について協議</p>
令和2年（2020年） 2月12日、13日	<p>■第3回小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議■</p> <p>・パブリック・コメント反映案について協議</p>
令和2年（2020年） 3月16日	<p>■第11回行政経営会議報告■</p> <p>・パブリック・コメント反映案について報告</p>
令和2年（2020年） 3月下旬	<p>■公表■</p>

## 小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議設置要綱

令和元年7月4日

告示第26号

(設置)

第1条 本市における国際化及び多文化共生に関する施策を推進するための計画(以下「推進計画」という。)の策定に当たり、関係者の意見を幅広く反映するため、小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議(以下「市民会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画に関する市民の意見の集約及び分析に関すること。
- (2) 推進計画の策定についての提言に関すること。
- (3) その他推進計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市内経済団体に所属する者
- (2) 技能実習生受入企業に所属する者
- (3) 観光DMO関係団体に所属する者
- (4) 地域医療関係団体に所属する者
- (5) 地域コミュニティ団体に所属する者
- (6) 日本語ボランティア活動を行う者
- (7) 在住外国人
- (8) 労働関係機関の職員
- (9) 市立小中学校の校長

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から推進計画の策定完了の日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第6条 市民会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。
- 2 市民会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
  - 3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(成果の報告)

第7条 会長は、市長に対し、市民会議の所掌に係る成果を報告しなければならない。

(庶務)

第8条 市民会議の庶務は、地方創生課において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

## 小林市国際化・多文化共生推進計画策定市民会議

【順不同・敬称略】

No.	委員会役職名	氏名	団体等役職名
1	会長	仮屋 實直	小林市区長会理事
2	副会長	川野 美紗子	小林市観光協会事務局長
3	委員	平賀 卓三	小林商工会議所 専務理事
4	委員	古川 浩通	九州グンゼ株式会社宮崎工場 総務課長
5	委員	四位 廣文	有限会社 四位農園 会長
6	委員	上田 卓矢	小林まちづくり株式会社 観光推進部
7	委員	遊木 裕人	一般社団法人 西諸医師会 事務局次長
8	委員	青山 美樹	日本語ボランティア
9	委員	古川 レイア	在住外国人
10	委員	渡邊 琢巳	小林公共職業安定所 雇用指導官
11	委員	下別府 博	小林市校長会 会長

## 小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議設置要綱

令和元年7月4日

告示第27号

### (設置)

第1条 本市における国際化及び多文化共生に関する施策を推進するための計画(以下「推進計画」という。)の策定及び実施に当たり、庁内の総合調整を行うため、小林市国際化・多文化共生推進計画庁内調整会議(以下「調整会議」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 調整会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 推進計画の基本的な企画立案に関すること。
- (2) 推進計画の進捗管理に関すること。
- (3) その他推進計画の策定及び実施に係る庁内の総合調整に関すること。

### (組織)

第3条 調整会議は、会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は、地方創生課長をもって充てる。
- 3 委員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。

### (会長)

第4条 会長は、会務を総理し、調整会議を代表する。

- 2 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第5条 調整会議の会議は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。

- 2 調整会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

### (ワーキンググループ)

第6条 推進計画の策定及び実施に関する調査及び研究を円滑に行うため、調整会議にワーキンググループを設置する。

- 2 ワーキンググループは、グループ長及びグループ員をもって組織する。
- 3 グループ長は、地方創生課長が指名する地方創生課主幹をもって充てる。
- 4 グループ員は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 ワーキンググループの会議は、必要に応じてグループ長が招集し、議長となる。

### (庶務)

第7条 調整会議の庶務は、地方創生課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

別表第1(第3条関係)

危機管理課長
商工観光課長
人権同和对策監
生活環境課長
健康推進課長
子育て支援課長
学校教育課長
社会教育課長

別表第2(第6条関係)

危機管理課長が指名する危機管理課主幹
商工観光課長が指名する商工観光課主幹
人権同和对策監が市民課長の承認を得て指名する市民課主幹
生活環境課長が指名する生活環境課主幹
健康推進課長が指名する健康推進課主幹
子育て支援課長が指名する子育て支援課主幹
学校教育課長が指名する学校教育課主幹
社会教育課長が指名する社会教育課主幹

## 小林市国際化推進に係る外国人向けアンケート調査結果

### I 外国人向けアンケートの概要

#### 1 調査の目的

外国人が暮らしやすいまちづくりを進めるために、現状と課題、ニーズを把握し、今後の外国人支援事業の実施につなげることを目的として実施した。

#### 2 調査対象者

平成 29 年 6 月末現在、小林市住民基本台帳に登録している 18 歳以上の外国人

住基人口	うち外国人	割合(%)	上位国籍別外国人人口				
			ベトナム	中国	フィリピン	韓国	カンボジア
45,268	455	1.0	193	124	62	9	6

\*上位 5ヶ国のみ

#### 3 調査方法と調査期間

- ・ 郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- ・ 平成 29 年 8 月 30 日（水曜）～平成 29 年 9 月 19 日（火曜）の 21 日間

※調査票は、日本語、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語で作成

#### 4 調査項目（5項目 29問）

- (1) 回答者の属性について
- (2) 普段の生活について
- (3) 日本語能力について
- (4) 医療について
- (5) 市の外国人支援について

#### 5 回収結果

- (1) 配布数 439 件
- (2) 有効配布数 435 件（4 件が宛先不明で返送）
- (3) 回答数 180 件
- (4) 回収率 41%

表 1 国籍別回答者数

国籍	ベトナム	中国・台湾	フィリピン	タイ	アメリカ	その他	無回答
人数(%)	112 (62)	36 (20)	14 (8)	3 (2)	3 (2)	10 (5)	2 (1)

#### 6 その他

複数回答設問の集計は、当該設問に回答すべき人数を集計母数として、各選択肢の各回答比率を求めているため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合がある。

## II 調査結果の概要

### 1 回答者の属性

回答者の90%以上が女性であり、国籍は、「ベトナム」、「中国・台湾」、「フィリピン」が多くなりました。在留資格は、「技能実習生」が最も多く、次いで「永住者」でした。

### 2 普段の生活について

「普段の生活で困っていることや、心配なこと」を年齢別で見ると、10歳代から40歳代まで、「言葉が十分に通じない」が最も多い回答であり、「文化や習慣の違い」と「地震や大災害が起きた場合の対応」という回答も比較的多くみられました。「言葉が十分に通じない」と回答した中では、特に「病院へ行ったとき」と「銀行や郵便局へ行ったとき」に困ったと回答した人が多くみられました。

### 3 日本語能力について

日本語を勉強している人は63%であり、「ひとりで勉強している」人が最も多いという結果になりました。日本語を勉強していない理由で最も多かったのは、「勉強する時間がない」でした。また、学習にあたって最も重要視することは、「希望する時間に指導が受けられること」、「自宅や職場に近いところ」で学習することでした。

### 4 医療について

病院で困ったことや不安に感じたことは、「身体の状態を詳しく説明すること」、「医師や看護師の説明を聞くとき」、「書類の内容が分からず読めない」でした。また、医療サービスとして希望することは、「案内板の多言語表記」、「通訳」、「問診票や入院書類の多言語表記」でした。「通訳」に関しては有料でも通訳サービスを利用したいと回答した人が60%になりました。

### 5 市の支援について

市の広報紙やお知らせを「読んでいる」が29%、「時々読んでいる」が33%、「読んでいない」が33%。その中で、広報紙を読んでいない理由として、「日本語が分からないので読まない」と回答した方が多くなりました。また、「市からのお知らせで多言語表記を希望するもの」は、「広報こぼやし・お知らせ版」「健康診断のお知らせ」、「防災ガイドブック」「避難所マップ」でした。

「外国人の方にも暮らしやすい小林市にするために必要なこと」は、「多言語での情報提供」、「日本語を勉強できる機会を増やす」、「災害時の情報提供や避難支援」、「病院での通訳や翻訳」、「外国人同士が交流できるところ（があること）」、「日本人と交流できるところ」でした。



## Ⅱ 調査結果の概要

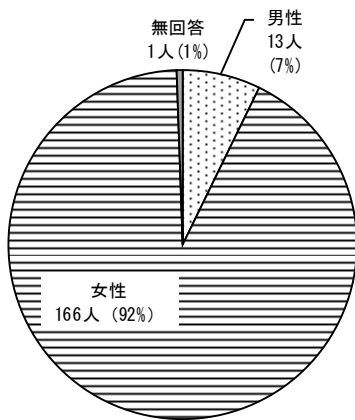
### 1. あなたのことについて

**回答者の約9割は女性。国籍は「ベトナム国籍」が最多**

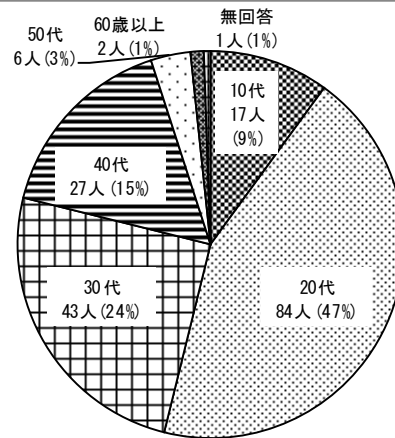
回答者の92%が女性で、国籍別では、多い順に「ベトナム」が62%、「中国・台湾」が20%、「フィリピン」が8%でした。

これまで本市には、「中国国籍」の外国人が多く本市に在住していましたが、平成29(2017)年6月末には、「フィリピン国籍」の外国人が一番多くなりました。

問1. あなたの性別は？ 【〇は1つ】



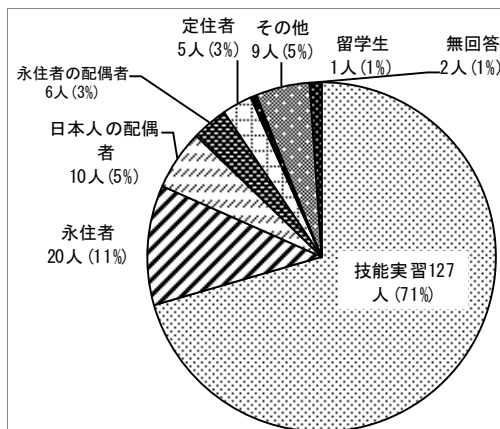
問2. あなたの年齢は？ 【〇は1つ】



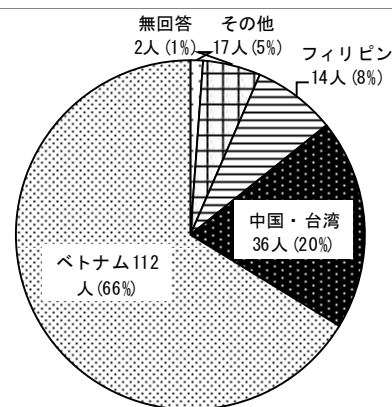
**在留資格は「技能実習生」が多く、約7割の回答者が30歳以下**

また、在留資格は、「技能実習生」が最も多く、次いで「永住者」となりました。年代別では20代(84人)、30代(43人)、40代(27人)が86%を占めています。

問3. あなたの国籍は？ 【〇は1つ】



問4. あなた母語は何ですか？ 【〇は1つ】

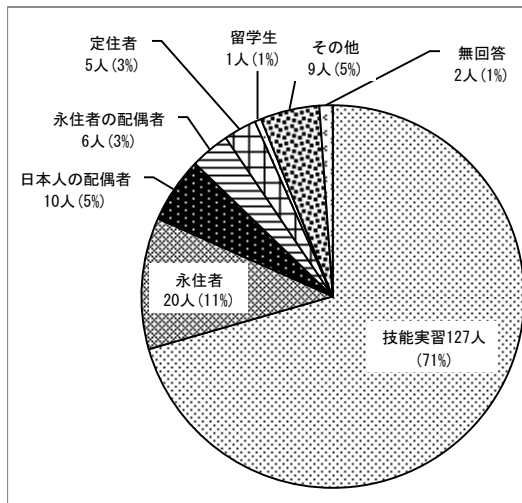


**約7割の外国人市民が非漢字圏の出身者で、在住歴が5年未満の外国人市民が約8割**

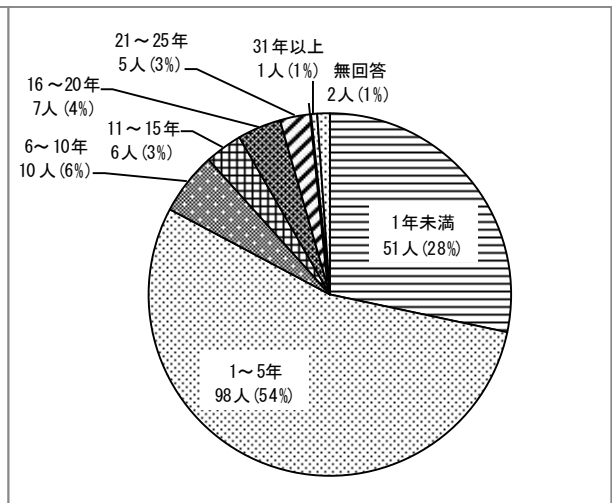
外国人市民の母語としては、ベトナム語を母語とする外国人市民が112人、中国語が36人、タガログ語が13人となっています。在留資格で一番多いのが、技能実習生（127人）、永住者（20人）、日本人の配偶者（10人）で、87%を占めています。

日本での居住年数は、「1～5年」が98人、「1年未満」が51人、「6～10年」が10人で全体の91%を占めています。

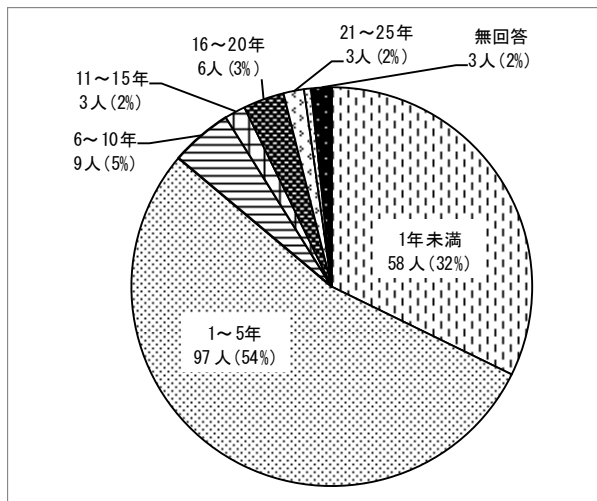
問5. あなたの在留資格は？【〇は1つ】



問6. あなたはこれまで、日本に何年住んでいますか。【〇は1つ】



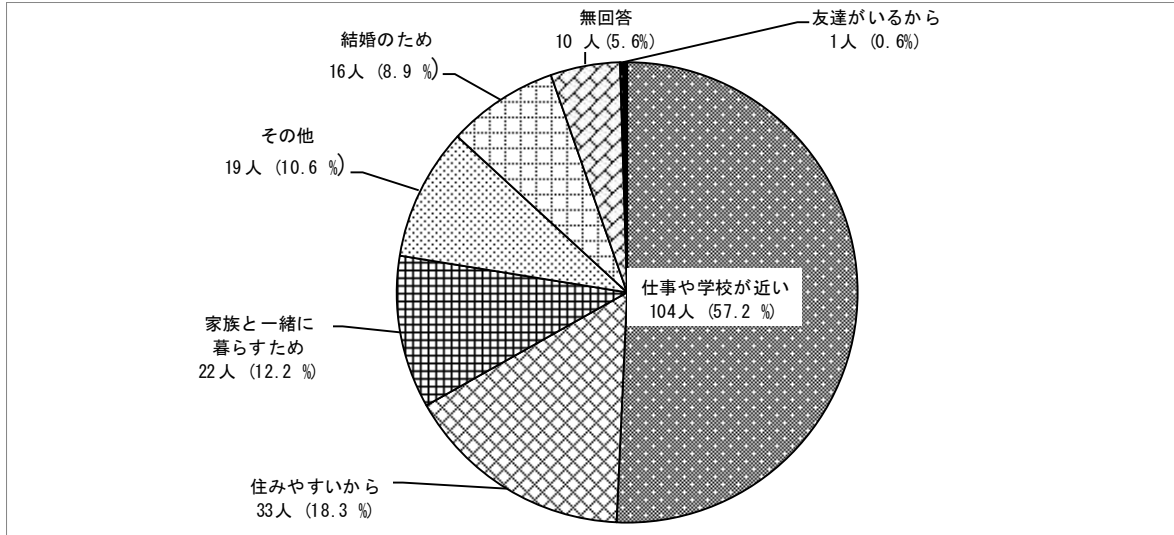
問6. 小林市に何年住んでいますか？【〇は1つ】



約6割の人が「これからもずっと小林市に住みたい」と回答

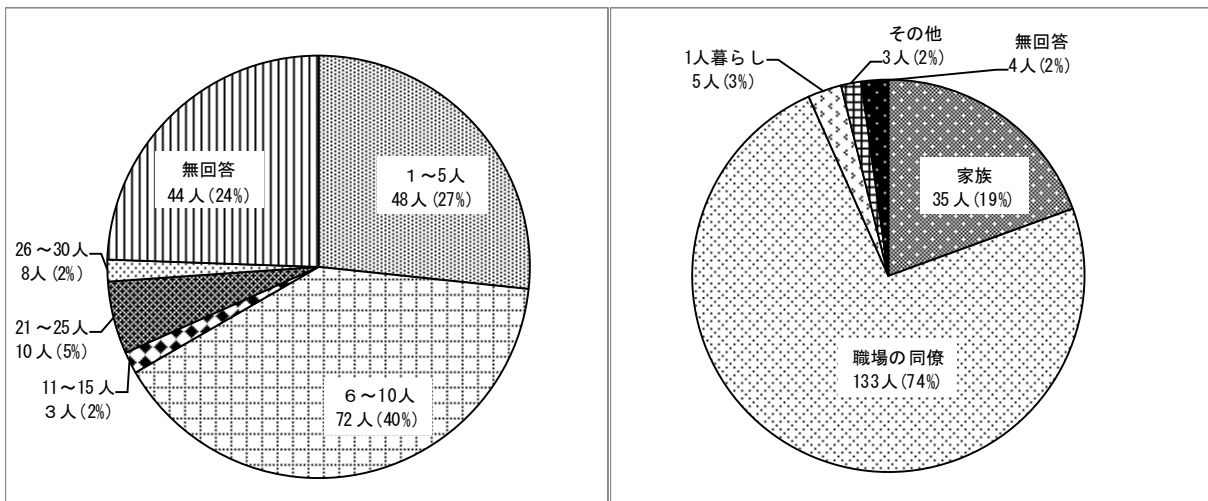
小林市に住んでいる理由として、「仕事や学校が近くにあるため」が57.2%、「住みやすいから」が18.3%、「家族と一緒に暮らすため」が12.2%でした。

問7. あなたが小林市に住んでいる理由は？【〇はいくつでも】



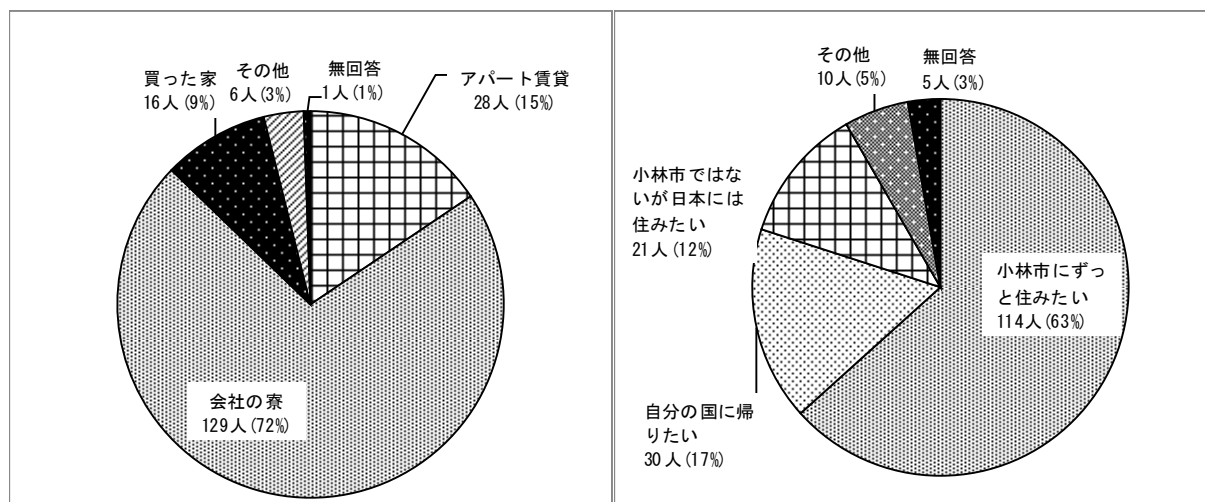
「現在、あなたは何人で住んでいますか？また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか？」という問いに、「6～10人」が40%、「1人～5人」が27%、「無回答」が24%でした。「複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか？」という問いに、「職場の同僚」が133人で、全体の74%の回答者が同僚と住んでいると回答しました。

問8 現在、あなたは何人で住んでいますか。また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか。【〇はいくつでも】



「現在、あなたはどこに住んでいますか」という質問に、「会社の寮」が129人、「アパート・賃貸」が28人という回答でした。「あなたはこれからどこに住みたいですか」という質問に、「小林市」と回答した人が63%、次いで「母国」が17%、「日本」と回答した人が12%になりました。

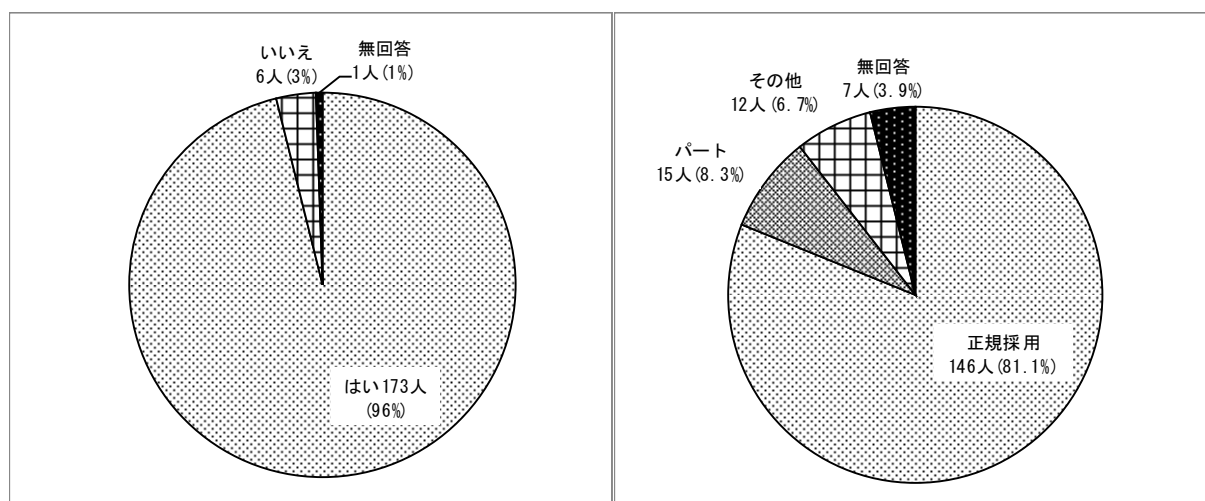
問8-1 現在、あなたはどこに住んでいますか？【〇は1つ】 問8-2 あなたはこれからどこに住みたいですか？【〇は1つ】



**9割以上の方が「現在働いている」と回答し、そのうち約8割の回答者の雇用形態は「正規採用」と回答**

雇用環境では、「現在働いていますか」という問いに、96%の回答者が「はい」と回答。そのうちの146人（約8割）の雇用形態は「正規採用」でした。

問9 現在、あなたは働いていますか。【〇は1つ】 雇用形態は？【〇は1つ】

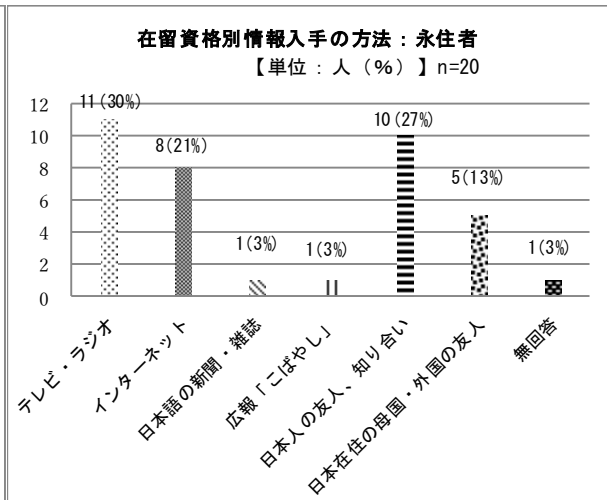
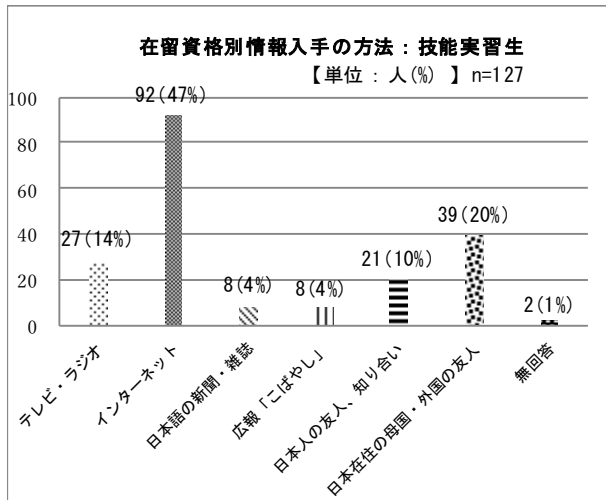
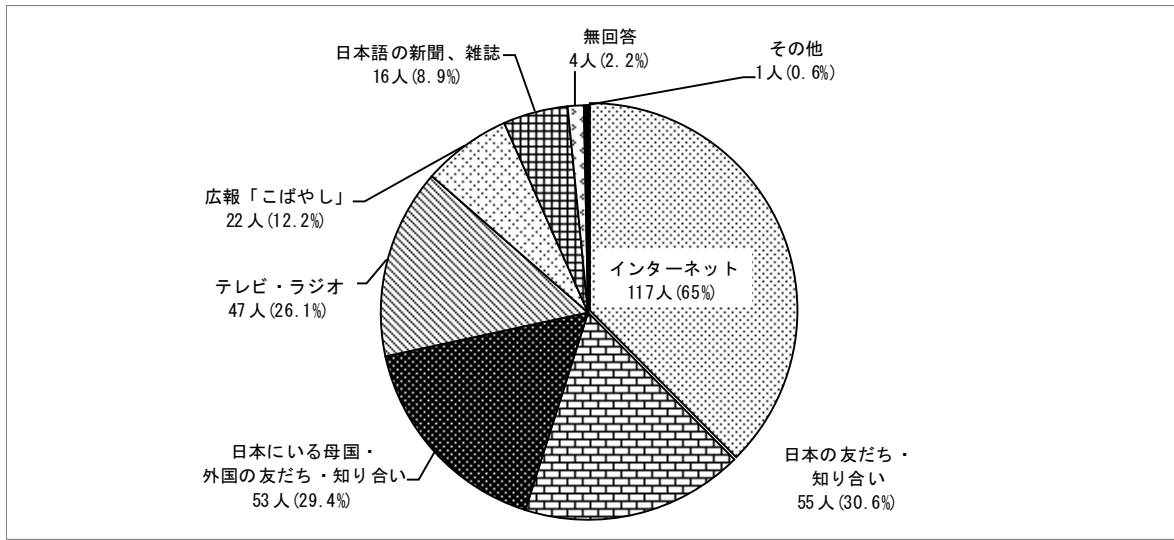


2. 普段の生活について

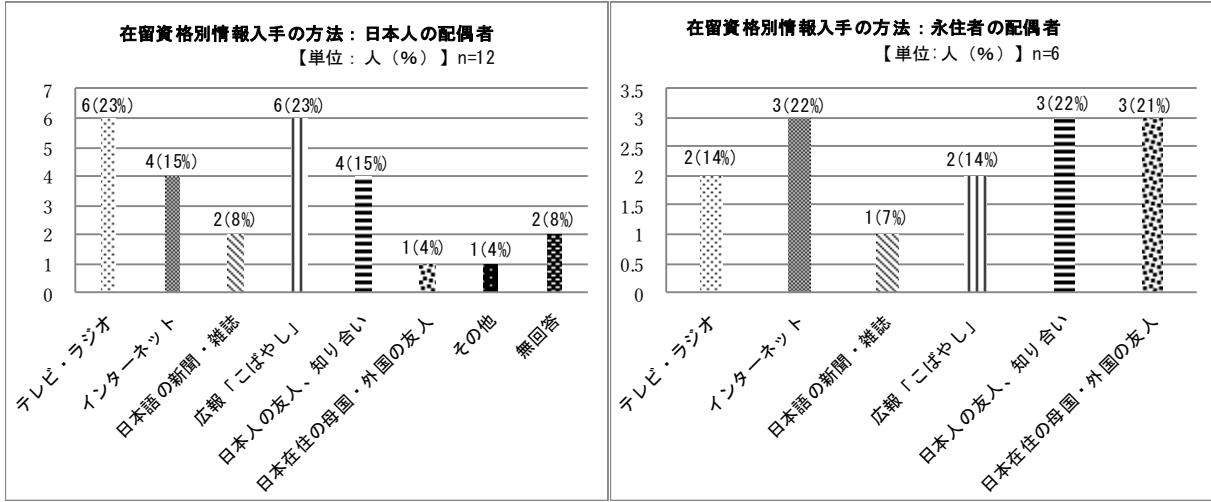
**約6割の外国人市民は生活に必要な情報は「インターネット」から得ている**

生活に必要な情報の入手先（複数回答）は、「インターネット」が65%、「日本人の友人・知人」30.6%でした。在留資格別でみると、約半数の技能実習生は「インターネット」から情報を得ており、永住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者は、「テレビ・ラジオ」「日本人の友だち・知り合い」と「インターネット」と幅広い領域で情報を入手していることがわかります。

問10 小林市での生活に必要な情報の入手方法は？【〇は3つまで】



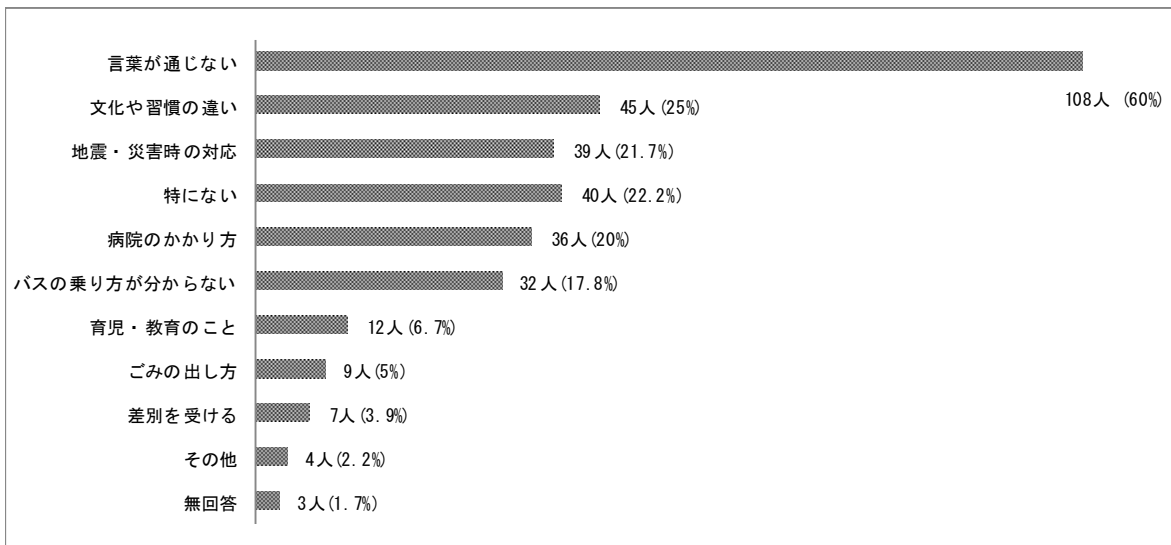




**約6割の回答者が「普段の生活で困っていることや心配なこと」は「言葉が十分に通じない」と回答。しかし、長期滞在資格を有する外国人市民は様々な分野で困っている。**

「普段の生活で困っていることや、心配なことは？」という問いに、「言葉が十分に通じない」が60%、「文化や習慣の違い」が25%、「地震や大災害が起きた場合の対応」が21.7%という結果でした。在留資格別では、技能実習生は、「言葉が十分に通じない」と回答した人が4割近くになりました。また、永住者や日本人の配偶者は、言葉のみではなく災害時の対応や育児や教育でも困っているという回答があったことから、言葉だけでなく、生活の様々な場面で困っていることがわかりました。年代別で調べると、全ての年代で「言葉が十分に通じない」ことが生活する上で最も困っていることであるという結果となりました。

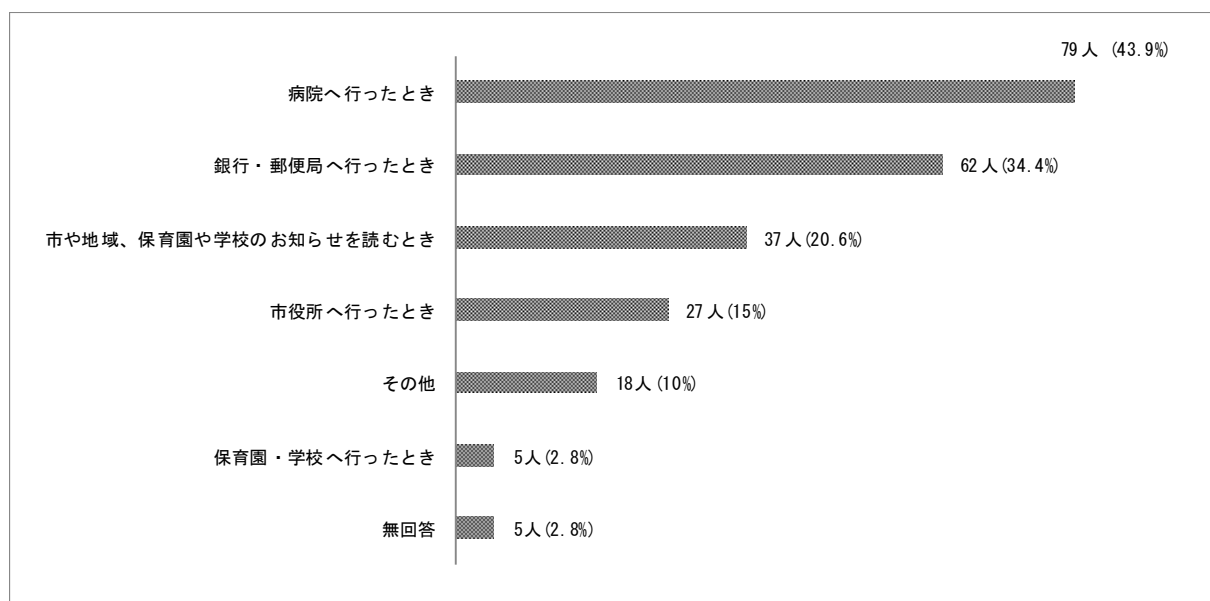
**問11 普段の生活で困っていることや、心配なことは？【〇はいくつでも】**



**「言葉が十分に通じない」と回答した中で、約4割の人が「病院へ行ったときに」困ったことがあると回答**

「言葉が十分に通じない」ことが生活する上で困っていると回答した人の中で、どんな場面で特に困るかという問いに、43.9%の人が「病院へ行ったとき」、34.4%の人が「銀行や郵便局へ行ったとき」、20.6%の人が「市や地域、保育園や学校のお知らせを読むとき」に困ると回答しました。

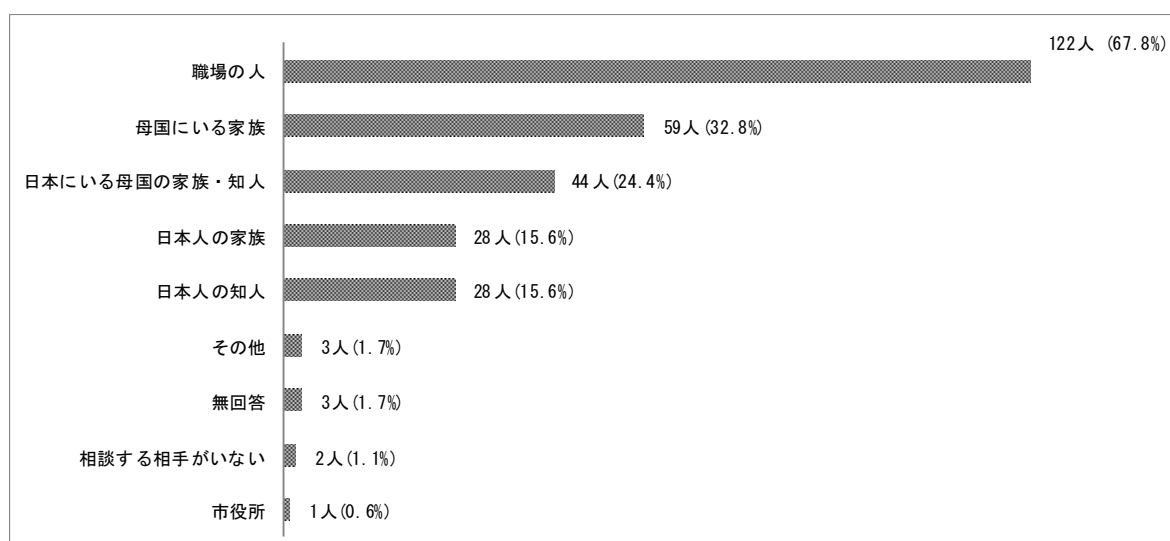
問11-1 問11で「1 言葉が十分に通じない」と選んだ方にお聞きします。あなたは、どんな時に言葉が通じなくて（わからなくて）困りますか。【〇はいくつでも】



## 約7割の人は困ったことや心配なことがあるとき、「職場の人」に相談すると回答

「困ったときや心配なことがあったときは、誰に相談しますか」という問いに、「職場の人」が67.8%、「母国にいる家族、親族」が32.8%、「日本にいる母国の家族や知り合い」が24.4%という回答でした。外国人市民は、身近にいる人に相談する傾向があるところの結果からわかりました。

## 問12 困ったことや心配なことがあったときは、誰に相談しますか。【〇はいくつでも】





### 3. 日本語能力について

約8割の人が「日本語を勉強している」や「勉強していた」と回答

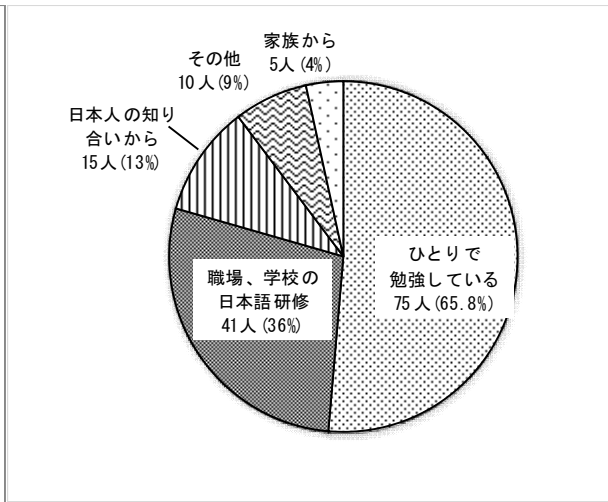
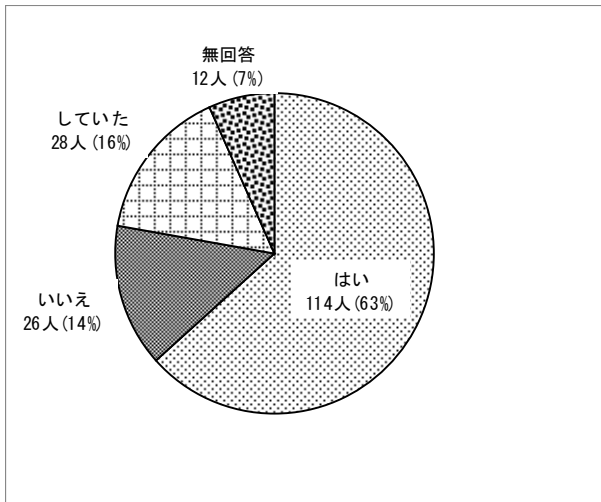
「現在日本語を勉強していますか？」という問いに、日本語を勉強していないという人は14%でしたが、日本語を勉強している人と日本語を勉強していた人を合わせると、8割近くになりました。

日本語の勉強方法としては、「ひとりで勉強している」が最も多く65.8%、「職場・学校の日本語研修」が36%、「日本人の知り合いから」が13%、「家族から」4%という結果でした。また、「勉強していない」理由のトップは、「勉強する時間がない」が42.3%、「日本語ができる」が38.5%でした。また、かつて勉強していた人が現在勉強していない理由としては、「仕事や学校に行くため時間がなくなった」が50%、「日本語ができるようになった」が39.3%でした。

問13 現在、日本語を勉強していますか。【〇は1つ】

問13-1 問13で「1 はい」を選んだ方にお聞きします。

どこで日本語を勉強していますか。【〇はいくつでも】

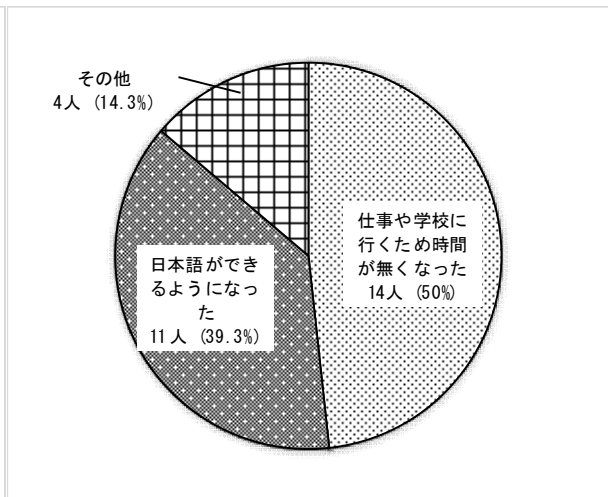
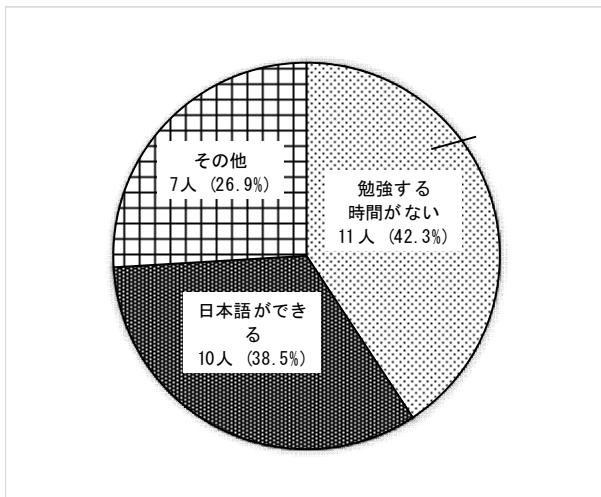


問13-2 問13で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。

問13-3 問13で「3 していた」を選んだ方にお聞きします。

勉強していない理由は？【〇はいくつでも】

日本語の勉強をやめた理由は？【〇はいくつでも】



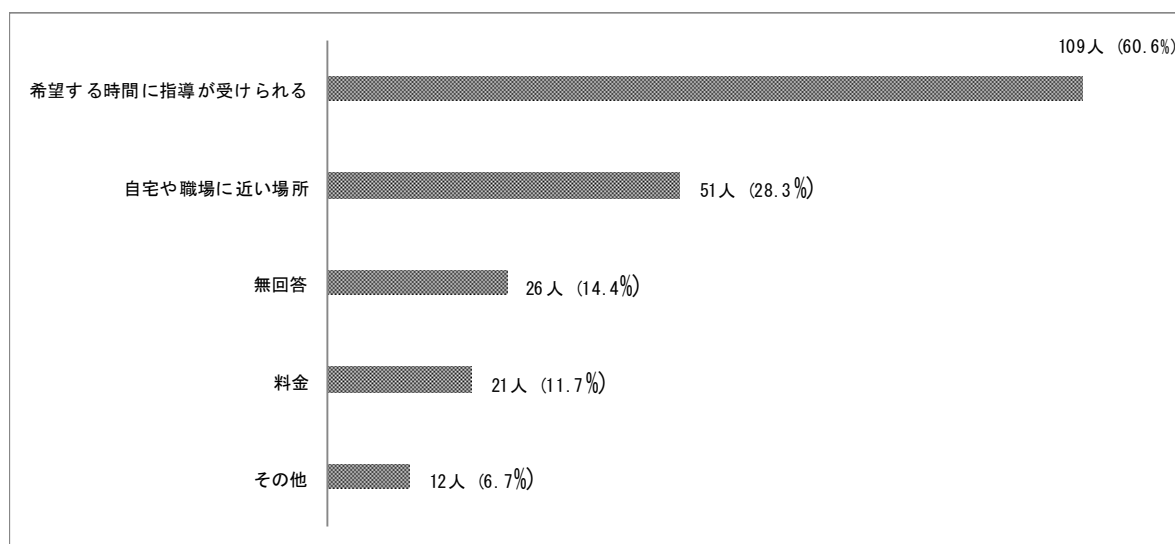
約6割の人が、「希望する時間に指導が受けられる」と「仕事に役立つ日本語」と「日常生活に役立つ日本語」を学習できることが、日本語学習をする際に最も重要視する点であると回答

約9割の外国人市民が、週末の午前中か夜に日本語を学習することを希望

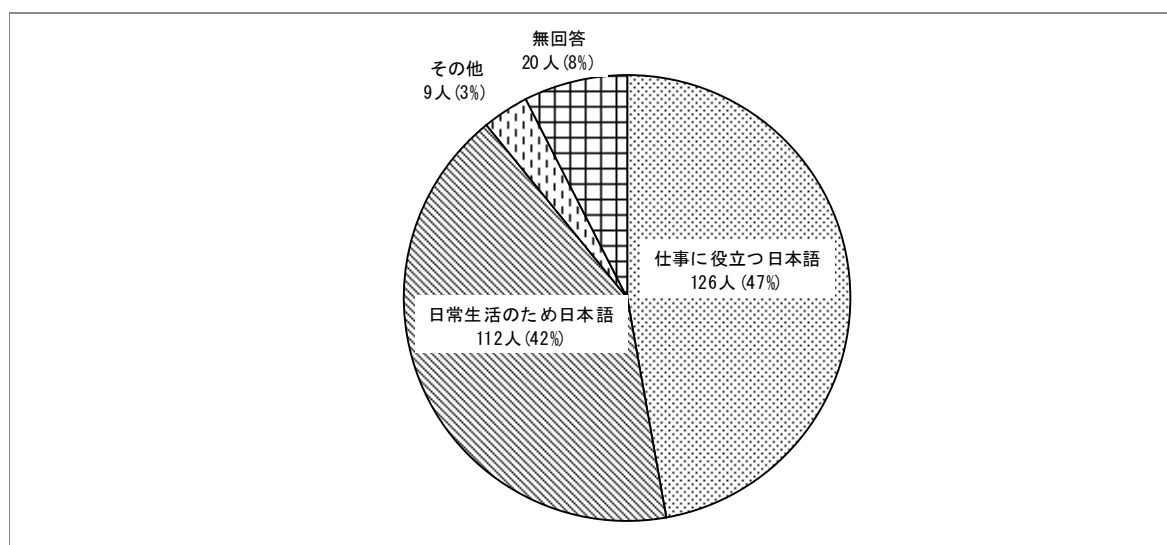
「日本語を学習する際、あなたが最も重要視することは何ですか（2つまで選択可）」という問いには、「希望する時間に指導が受けられること」が60.6%、「自宅や職場に近い場所」が28.3%となりました。47%の回答者が「仕事に役立つ日本語」を学習したいと回答し、42%が「日常生活のための日本語」を学習したいと回答しました。

日本語教室の希望曜日は、「日曜日」が61.7%、「土曜日」が35.6%でした。希望する時間帯は「夜」が36.7%、「午前中」と回答した人が25.6%という結果になりました。

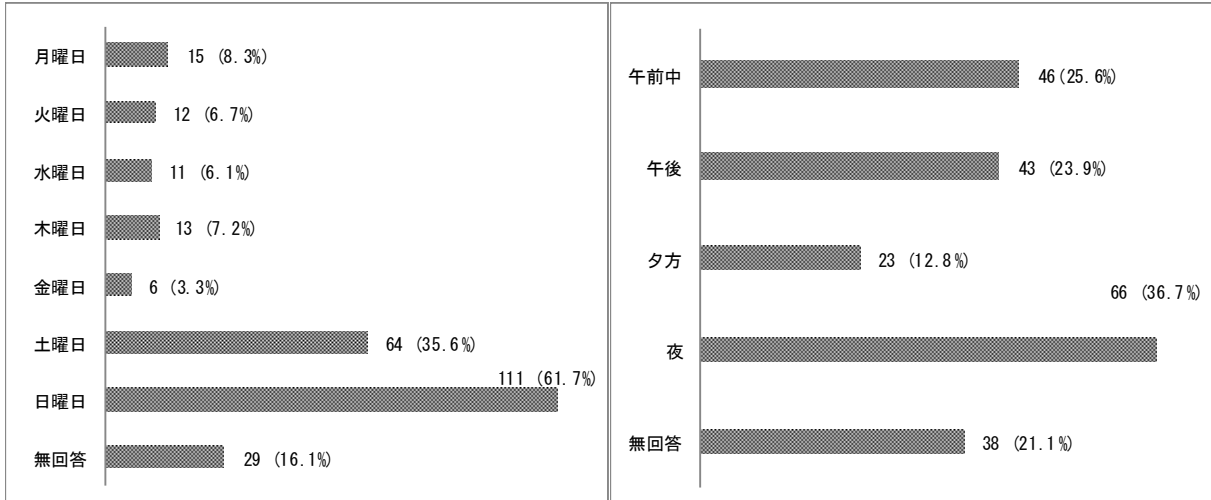
問14 日本語を学習する際、あなたが最も重要視することは何ですか？【〇は2つまで】



問14-1 日本語を学習する際、あなたが希望することは何ですか？【〇は2つまで】



問 14-2 日本語を学習する際の曜日と時間帯の希望は？【〇はそれぞれ2つまで】

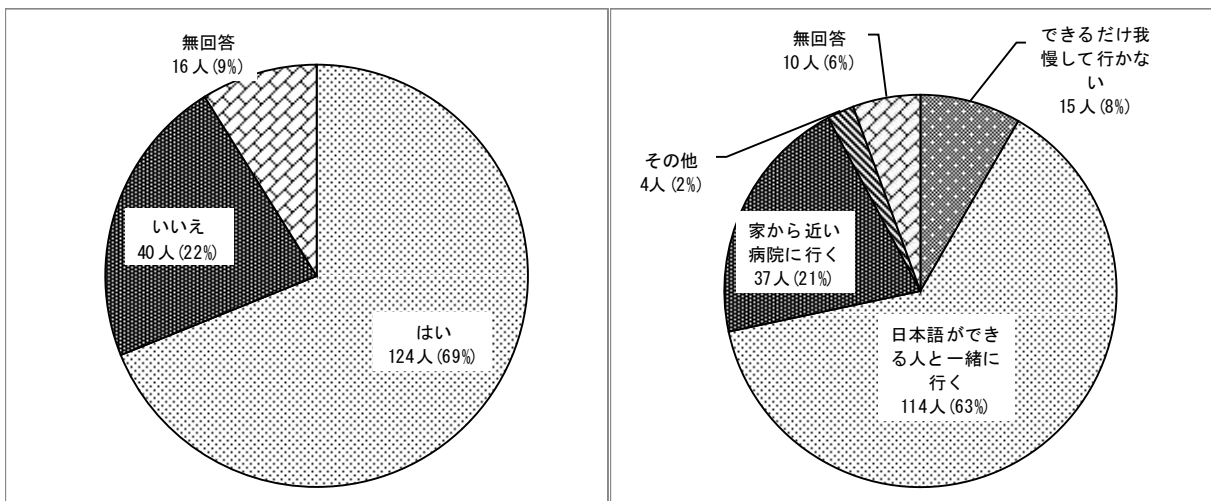


#### 4. 医療について

##### 約6割の人が病院には「日本語ができる人と一緒に行く」と回答

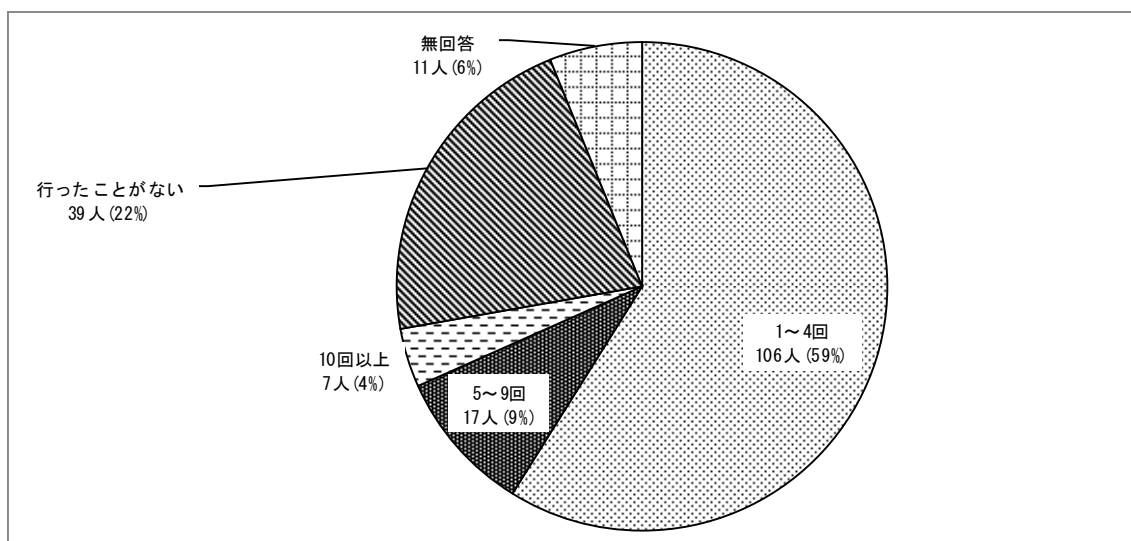
「あなたやあなたの家族または、友達の体調や病気について、医師に相談したいと思ったことはありますか」という問いに、相談したいと思ったことがあると回答した人が69%、思ったことがないと回答した人が22%でした。病気になったときは、「日本語ができる人と一緒に行く」が63%、「家から近い病院に行く」が21%、「できるだけ我慢して行かない」が8%でした。約6割近くの人が年1～4回病院へ行くと回答しました。その際使用した言語は「日本語」が82%となりました。病院へは誰と行ったかという問いに、「その他」と回答した人が48%であり、具体的には、母語を話せる専門の通訳者を連れて病院へ行ったという回答でした。

問 15 あなたやあなたの家族または、友だちの体調や病気について、問 16 病気になったとき、どうしますか。【〇は1つ】  
医師に相談したいと思ったことはありますか。【〇は1つ】



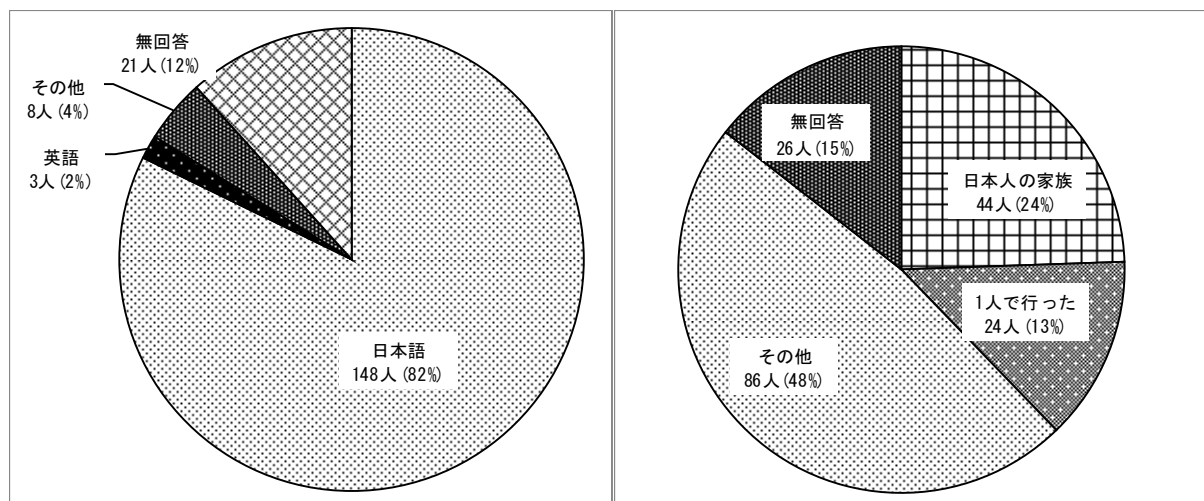
問 17 過去1年間に病院やクリニックに何回行きましたか（あなた自身の受診のほか、家族や友だちの付き添いも含みます。）

【〇は1つ】



問 18 病院では、どの国の言葉で話しましたか。【〇は1つ】

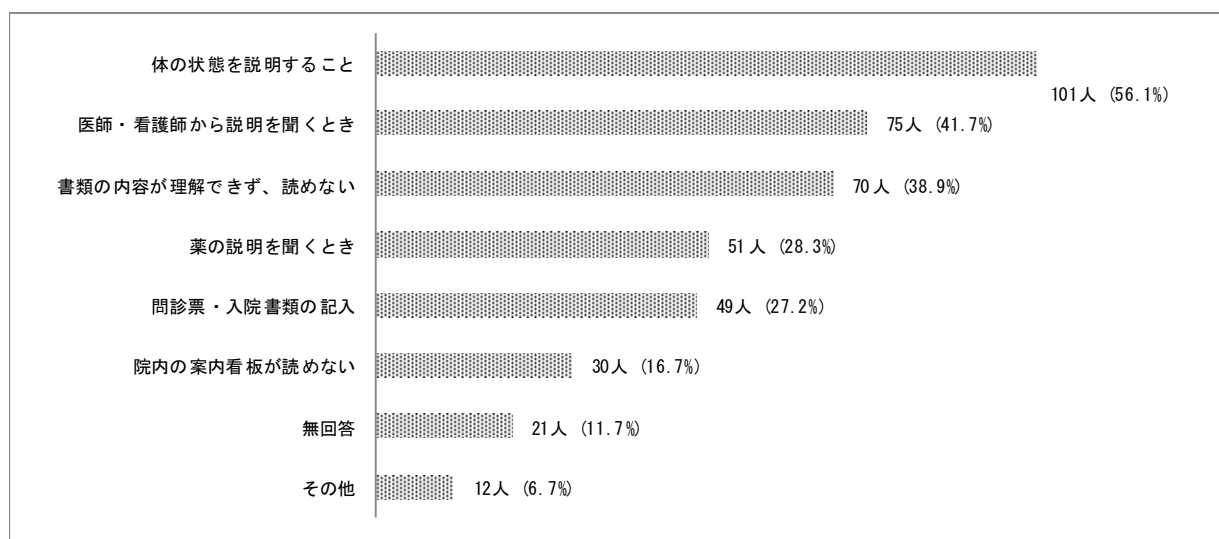
問 19 病院には、誰と行きましたか。【〇は1つ】



約6割の人が「病院で困ったこと、不安に感じたこと」は「体の状態を詳しく説明すること」

「病院に行ったとき、困ったことや不安に感じたことはありますか（5つまで選択可）」という問いに、困ったことや不安に感じたことは「体の状態を詳しく説明すること」という人が56.1%、「医師・看護師から説明を聞くとき」が41.7%、「書類の内容が分からず読めない」が38.9%という回答でありました。

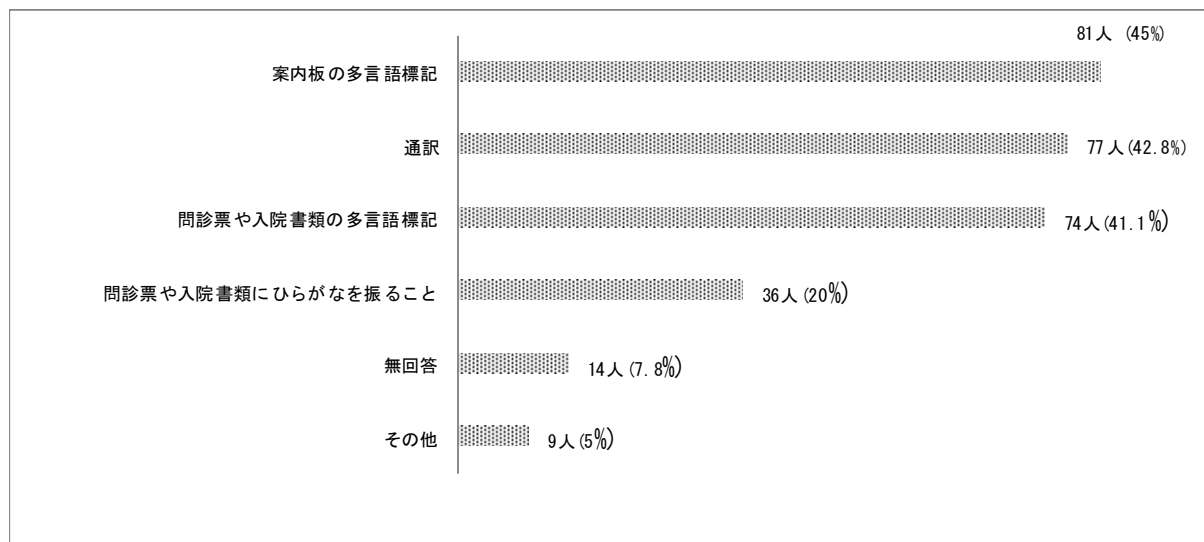
問 20 病院に行ったとき、困ったことや不安を感じたことはありますか。【〇は5つまで】



**約8割の人が病院での「通訳制度を利用したい」そのうち、約6割が有料でも利用したい**

「医療サービスとして希望することは（3つまで選択可）」という問いに、「案内板の多言語表記」が45%、「通訳」が42.8%、「問診票の多言語表記」41.1%という回答がありました。

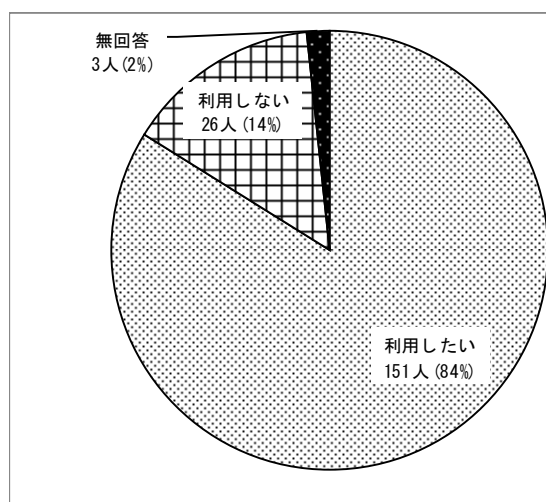
また、「病院やクリニックにかかるとき、通訳制度があったら利用しますか。」という問いに、84%の人が通訳制度を利用したいと回答し、そのうち、有料でも通訳制度を利用したいと回答した人が、60%いました。



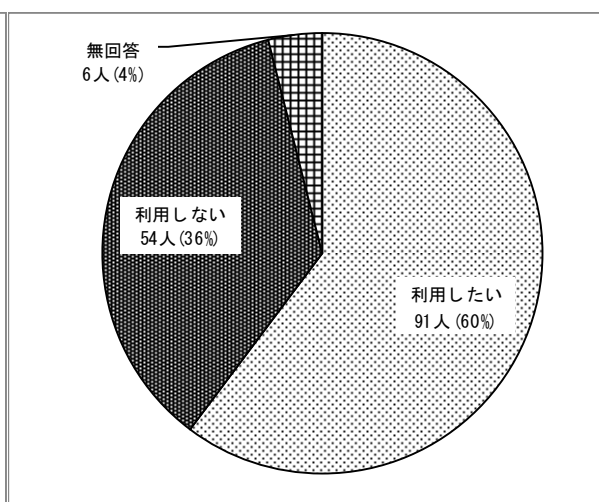


## 問 22 病院やクリニックにかかるとき、通訳制度が

あったら利用しますか。【〇は1つ】



## 有料の通訳制度でも利用したいですか。【〇は1つ】



「病院やクリニックに希望することや特に困っていること、日本の病院の印象など、ご意見があればお書きください。」という問いに以下の記述がありました。

- 小林市には、日曜日でも開く病院やクリニックはほとんどないです。主人が働いているところでは人手不足で平日なかなか休みが取れなくて、病院での診察は難しいです。結果、市販の薬を購入するか、都城市の24時間開いている救急病院へ行くしかありません。しかし、そちらでも歯科や眼科などはないので、不便なところがあります。
- 診察時に洋服をあげて診察するのは恥ずかしいです
- 英語での表示がもっと必要だと思います。そして、処方箋や医師と話す時の通訳者がいるといいと思います。
- 全く問題はありません。医師や看護師はとても丁寧で親切です。
- 日本の病院のスタッフや医療機器が素晴らしいです。だから日本が好きです。
- もし、病状が深刻だったり、大けがしたりしたときは通訳者が重要になってくると思います。
- きちんとしていて清潔
- 清潔で、フレンドリー、そして親身になってくれる。ありがとうございます。外国人として病院に行くことはストレスを感じる事もあると思います。私たちの意思とは関係なく注目を集めてしまうので、より不安に思ってしまうことも多いと思います。
- 病院に行くときに、タガログ語と英語で書いてほしい。そして、病院のことや保険など、それ以外にも必要な情報をそういう風で書いてほしい。
- 病院の名前は英語でも書いてほしい。
- 中国語ができる医者がいてほしい。病院がきれい、人が親切。
- 医療スタッフのサービス態度がとても良いです。

## 5. 市の外国人支援について

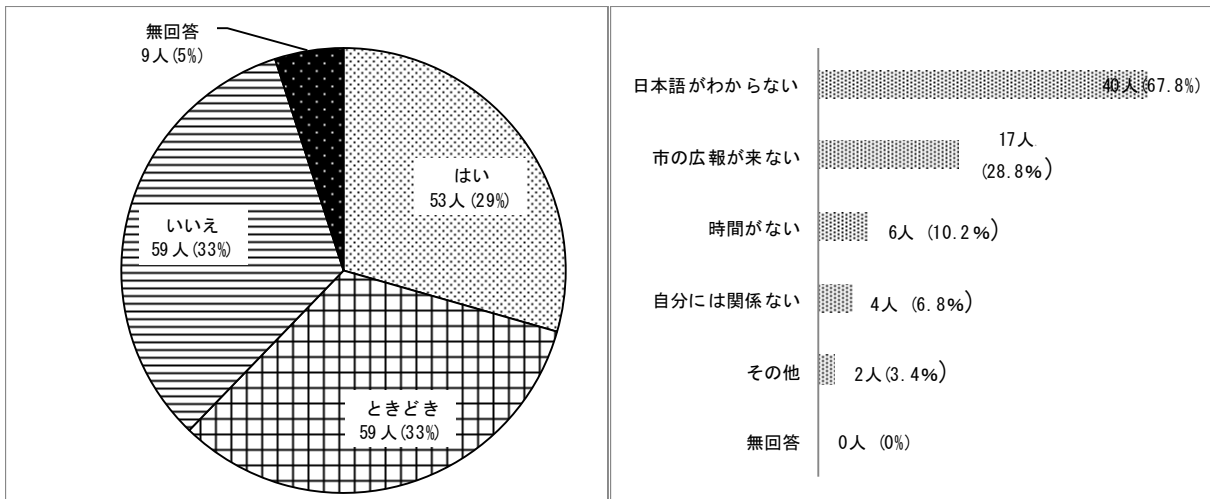
### 約3割の外国人住民が、市の広報紙やお知らせを読んでいる

「市の広報紙や市から届くお知らせを読んでいますか(3つまで選択可)」という問いに「はい」と回答した人が29%、「時々読んでいる」が33%、「いいえ」が33%でした。「いいえ」と回答した人のうち読まない理由として、「日本語がわからない」が67.8%、「市の広報が来ない」が28.8%という結果になりました。

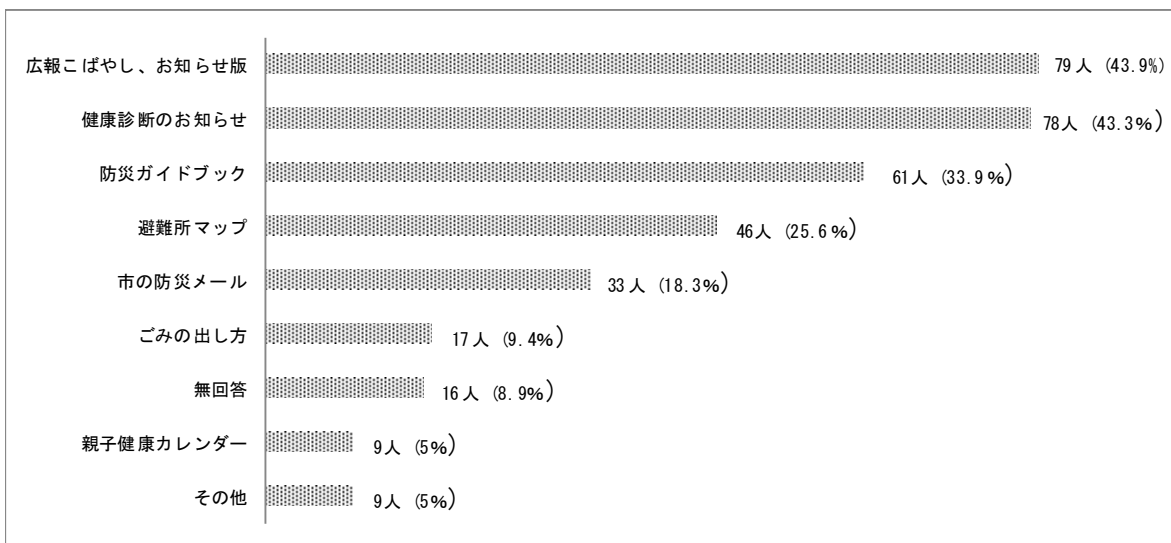
「市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは」という問いに、「広報こぼやし、おしらせ版」が43.9%、「健康診断のお知らせ」が43.3%、「防災ガイドブック」が33.9%となりました。

問24 市の広報誌など、市から届くお知らせを読んでいますか？ 読まない理由は何ですか？【〇は1つ】

【〇は1つ】



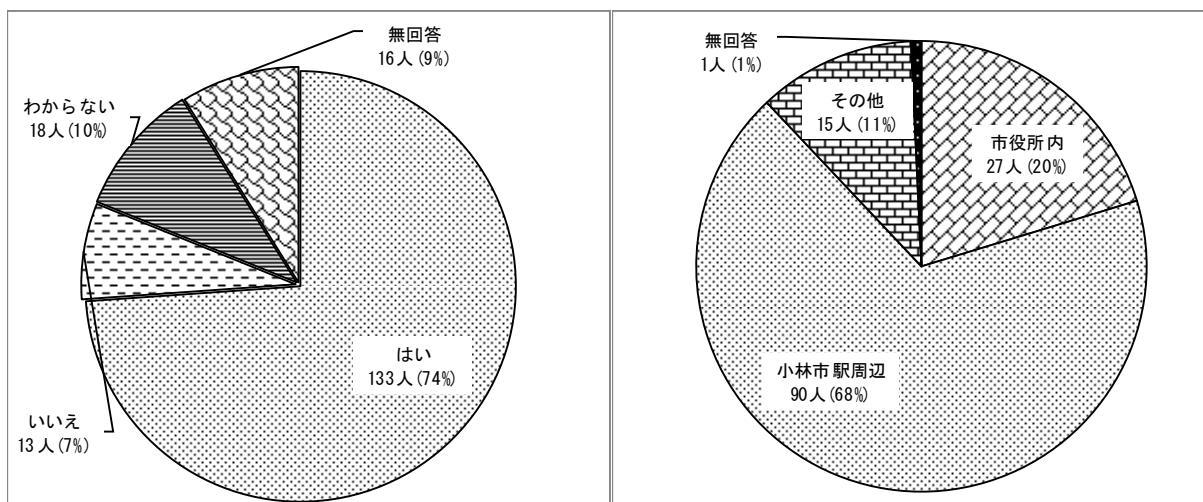
問25 市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは？【〇は3つまで】



**約7割の人が、市内に外国人が憩う場所があればいいと回答**

74%の外国人市民が、市内に憩う場所があればいいと回答し、そのうち「駅周辺」にそういった場所があるといいと回答した人が68%でした。

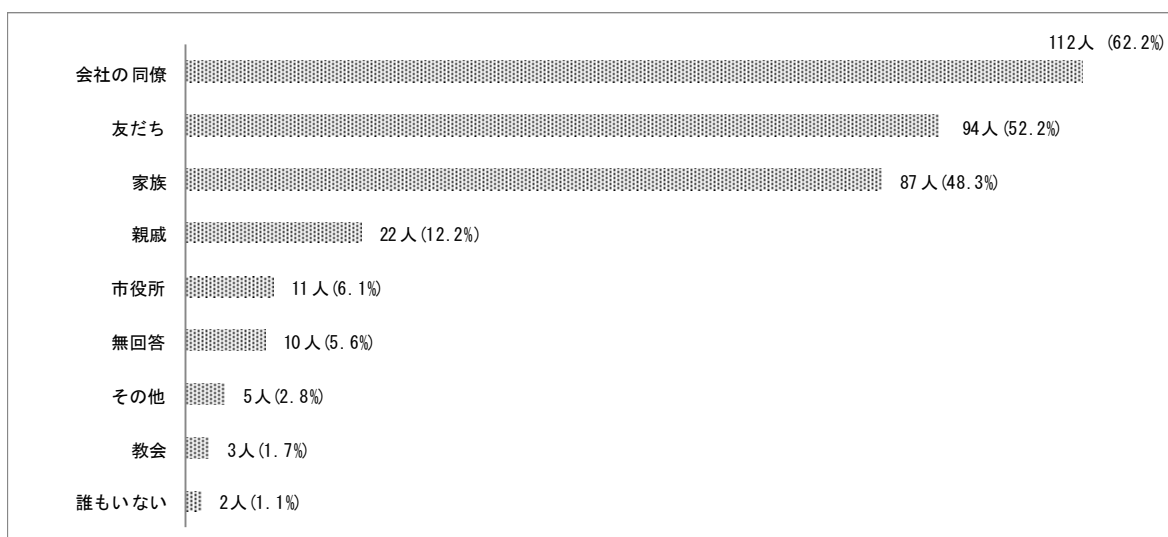
問26 市内に、外国人の方が憩う場所があればいいと思いますか。【〇は1つ】場所は？



**約6割の人が、困ったとき相談するのは「会社の同僚」**

何か困ったとき相談するのは、「会社の同僚」が62.2%、「友だち」が52.2%、「家族」が48.3%となり、大多数の人が「身近な人」に相談をしていることがわかります。

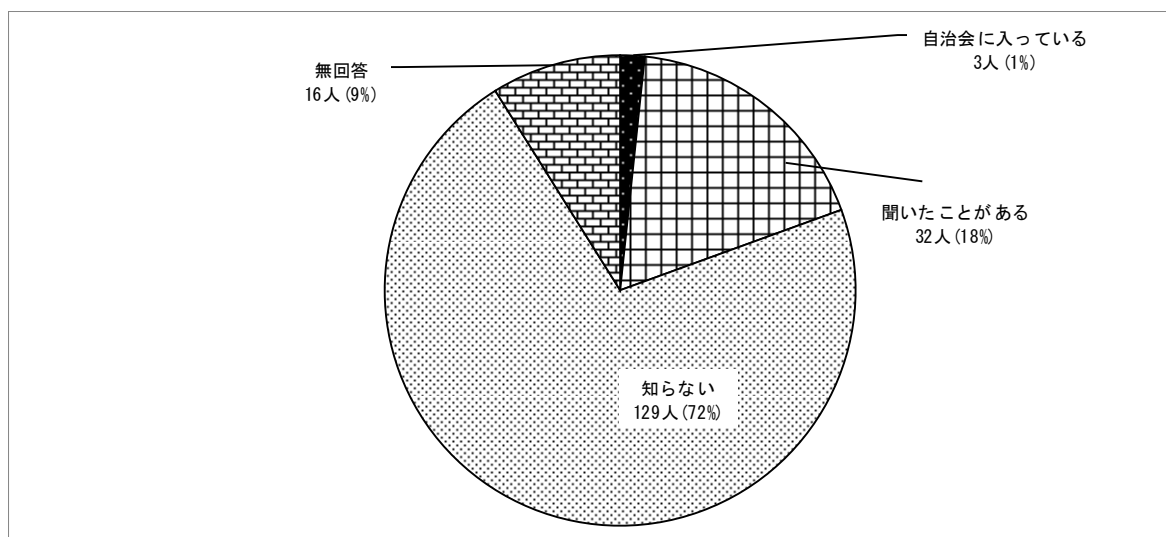
問26-1 何か困ったとき、だれに相談しますか。【〇はいくつでも】



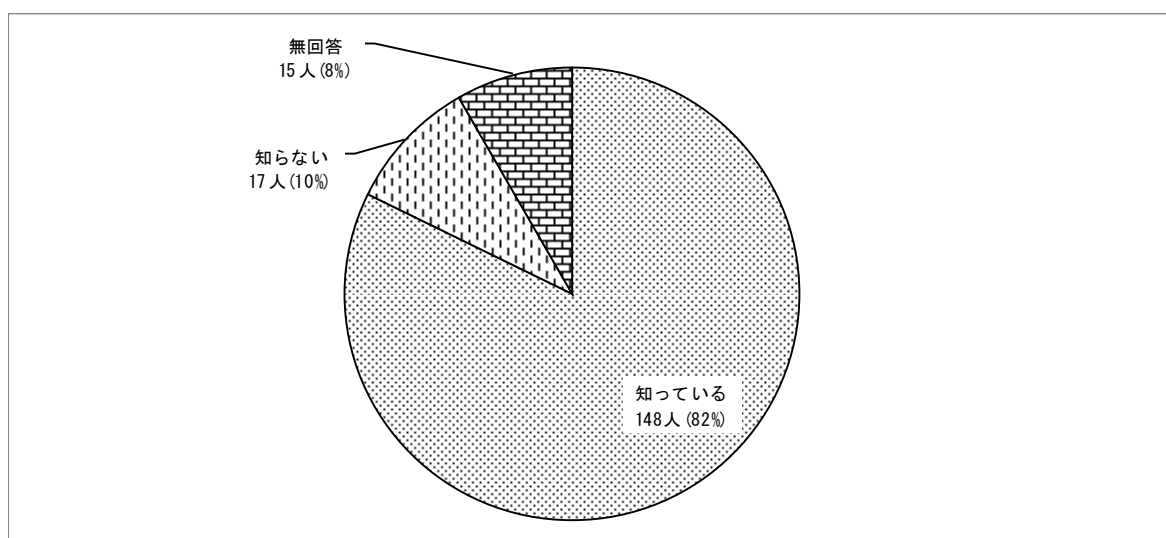


**約7割の人が「自治会を知らない」**

自治会を「知らない人」は72%で、「聞いたことがある」が18%、「実際に自治会に入っている」人は1%でした。

**問 26-2 自治会を知っていますか？【〇は1つ】****約8割の人が「自分が犯罪や火事にあったらどうすればいいか知っている」と回答**

10%の人が犯罪や火事などにあったらどうすればいいか「知らない」と回答。その反面、「知っている」と回答した人が82%いました。

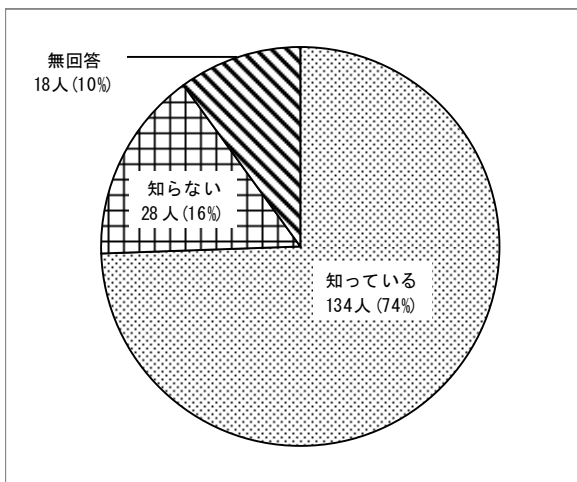
**問 26-3 自分が犯罪や火事などにあったら、どうすればいいか知っていますか。【〇は1つ】**

**約7割の人が、「地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っている」が、その反面約6割の人が、最寄りの避難所を知らないと回答**

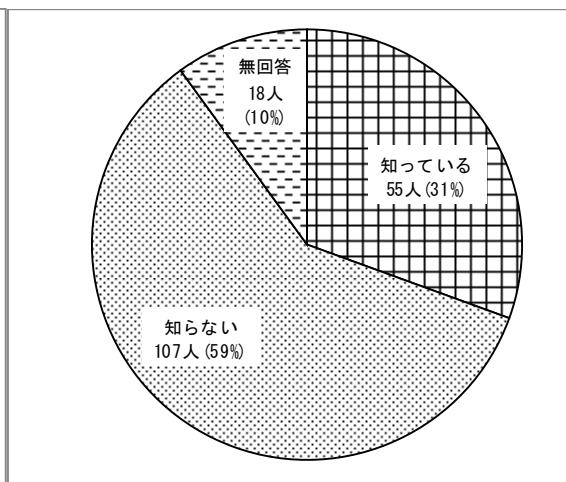
「地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか」という問いに、74%が「知っている」、16%が「知らない」と回答しました。

しかし、「自分の家の近くの避難所を知っていますか」という問いに、「知らない」と回答した人が59%、「知っている」が31%となりました。

問 26-4 地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか。【〇は1つ】



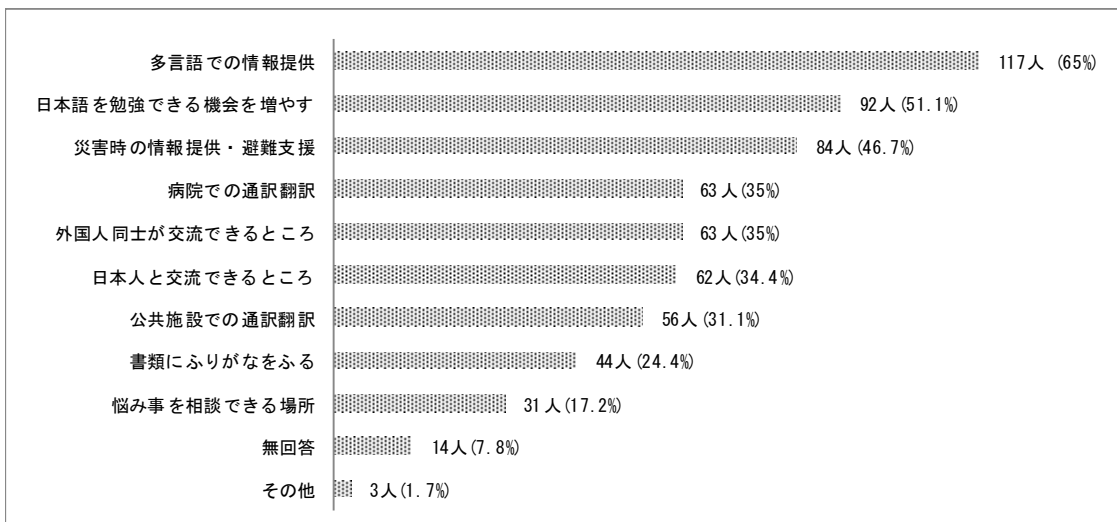
問 26-5 自分の家の近くの避難所を知っていますか。【〇は1つ】



**約6割の人が、「多言語での情報提供」が必要**

外国人市民にとっても暮らしやすい小林市にするため必要なこととして、「多言語での情報提供」と回答した人が65%、「日本語を勉強できる機会を増やす」が51.1%、「災害時の情報提供・避難支援」が46.7%となりました。

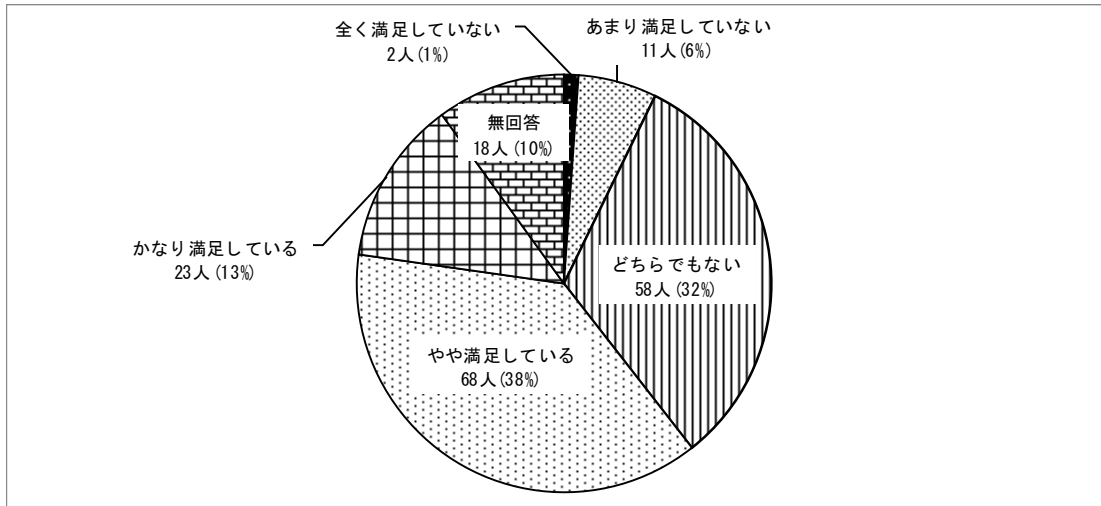
問 27 次のうち、外国の方にも暮らしやすい小林市にするために、必要だと思うことは。【〇はいくつでも】



**約5割の人が小林市で暮らすことに「かなり満足している」「やや満足している」**

小林市に住んでみての満足度を問う質問に対して、「やや満足している」が38%、「どちらでもない」が32%、「かなり満足している」が13%、「あまり満足していない」が6%、「全く満足していない」が1%となっています。

問28 小林市に住んでみて全体的にどの程度満足していますか。【〇は1つ】



**約7割の人が、外国人住民をサポートしてくれている身近な人が不在になると、生活に不安に思うと回答**

外国人市民をサポートしている身近な人が不在になると不安になることとして、「特にない」と回答した人が27.2%でした。一方で、「病院での説明を理解・手続きすること」が不安だと回答した人が27.2%、「子供の学校、市役所からのお知らせを理解・手続きすること」が23.3%、「文化・習慣の違いを理解し関わること」が不安だと回答した人が23.3%でした。

問29 普段の生活で頼りにしている方が、長期出張や入院などで家を不在にしたときに、あなたが不安に思うことは何ですか【〇はいくつでも】

病院での説明を理解・手続きすること	49 (27.2%)
特にない	49 (27.2%)
子どもの学校、市役所からのお知らせを理解・手続きをすること	42 (23.3%)
文化・習慣の違いを理解し、関わること	42 (23.3%)
無回答	27 (15%)
代理で地域の行事に参加すること	20 (11.1%)
電話での対応、ゴミ出しなどの家事全般	17 (9.4%)
介護や福祉利用サービス利用情報を取得できる事	11 (6.1%)
その他	6 (3.3%)

## Ⅲ アンケート調査用紙

小林市在住外国人アンケート

### 1 あなたのことについて

問1 あなたの性別は？ 【○は1つ】

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢は？ 【○は1つ】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60歳以上  |

問3 あなたの国籍は？ 【○は1つ】

- |         |         |          |        |
|---------|---------|----------|--------|
| 1 中国・台湾 | 2 フィリピン | 3 韓国・朝鮮  | 4 ベトナム |
| 5 タイ    | 6 アメリカ  | 7 その他( ) |        |

問4 あなた母語は何ですか？ 【○は1つ】

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1 中国語   | 2 タガログ語 | 3 韓国語    |
| 4 ベトナム語 | 5 英語    | 6 その他( ) |

問5 あなたの在留資格は？ 【○は1つ】

- |            |          |            |
|------------|----------|------------|
| 1 技能実習     | 2 永住者    | 3 日本人の配偶者等 |
| 4 永住者の配偶者等 | 5 定住者    | 6 留学生      |
| 7 わかりません   | 8 その他( ) |            |

問6 あなたはこれまで、日本に何年住んでいますか。また、小林市に何年住んでいますか。 【○はそれぞれ1

つ】

【日本】

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 ～1年未満  | 2 1～5年   | 3 6～10年  | 4 10～15年 |
| 5 16～20年 | 6 21～25年 | 7 26～30年 | 8 31年以上  |

【小林市】

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 ～1年未満  | 2 1～5年   | 3 6～10年  | 4 10～15年 |
| 5 16～20年 | 6 21～25年 | 7 26～30年 | 8 31年以上  |

問7 あなたが小林市に住んでいる理由は？ 【○はいくつでも】

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 家族と一緒に暮らすため | 2 仕事や学校が近くにあるため |
| 3 友だちがいるから    | 4 住みやすいから       |
| 5 結婚のため       | 6 その他（具体的に）     |

問8 現在、あなたは何人で住んでいますか。また、複数で住んでいる場合、誰と住んでいますか。

【○はいくつでも】

あなたを含めた人数 \_\_\_\_\_人

- |      |         |         |       |
|------|---------|---------|-------|
| 1 家族 | 2 職場の同僚 | 3 1人暮らし | 4 その他 |
|------|---------|---------|-------|

問8-1 現在、あなたはどこに住んでいますか。 【○は1つ】

- |           |        |        |       |
|-----------|--------|--------|-------|
| 1 アパート・賃貸 | 2 会社の寮 | 3 買った家 | 4 その他 |
|-----------|--------|--------|-------|

問8-2 あなたはこれからどこに住みたいですか。 【○は1つ】

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1 小林市にずっと住みたい     | 2 自分の国に帰りたい |
| 3 小林市ではないが日本に住みたい | 4 その他       |

問9 現在、あなたは働いていますか。 【○は1つ】

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|



雇用形態は？ 【○はひとつ】

- |        |             |       |
|--------|-------------|-------|
| 1 正規雇用 | 2 パート、アルバイト | 3 その他 |
|--------|-------------|-------|

## 2 小林市の普段の生活について

問10 小林市での生活に必要な情報の入手方法は？ 【○は3つまで】

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1 テレビ、ラジオ      | 2 インターネット             |
| 3 日本語の新聞、雑誌    | 4 広報「こばやし」            |
| 5 日本人の友だち、知り合い | 6 日本にいる母国・外国の友だち、知り合い |
| 7 その他（具体的に）    |                       |

問11 普段の生活で困っていることや、心配なことは？ 【○はいくつでも】

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 言葉が十分に通じない（問11-1へ） | 2 文化や習慣の違い        |
| 3 病院のかかり方            | 4 地震や大災害が起きた場合の対応 |
| 5 育児や教育のこと           | 6 ごみの出し方          |
| 7 バスや電車の乗り方がわからない    | 8 外国人ということで差別を受ける |
| 9 その他（具体的に）          | 10 特になし           |

問 1 1-1 問 1 1で「1 言葉が十分に通じない」と選んだ方にお聞きします。あなたは、どんな時に言葉が通じなくて（わからなくて）困りますか。 【○はいくつでも】

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1 市役所へ行ったとき             | 2 病院へ行ったとき     |
| 3 子どもの保育園や学校へ行ったとき      | 4 銀行や郵便局へ行ったとき |
| 5 市や地域、保育園や学校のお知らせを読むとき |                |
| 6 その他（具体的に              | ）              |

問 1 2 困ったことや心配なことがあったときは、誰に相談しますか。 【○はいくつでも】

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 日本人の家族、親族 | 2 母国にいる家族、親族      |
| 3 日本人の知り合い  | 4 日本にいる母国の家族や知り合い |
| 5 職場の人      | 6 市役所             |
| 7 その他（具体的に  | ） 8 相談する相手がない     |

### 3 あなたの日本語について

問 1 3 現在、日本語を勉強していますか。 【○は1つ】

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 はい（問 1 3-1へ）   | 2 いいえ（問 1 3-2へ） |
| 3 していた（問 1 3-3へ） |                 |

問 1 3-1 問 1 3で「1 はい」を選んだ方にお聞きします。

どこで日本語を勉強していますか。 【○はいくつでも】

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1 職場、学校の日本語研修 | 2 家族から       |
| 3 日本人の知り合いから  | 4 ひとりで勉強している |
| 5 その他（具体的に    | ）            |

問 1 3-2 問 1 3で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。

勉強していない理由は？ 【○はいくつでも】

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 日本語ができる  | 2 勉強する時間がない |
| 3 その他（具体的に | ）           |

問 1 3-3 問 1 3で「3 していた」を選んだ方にお聞きします。

日本語の勉強をやめた理由は？ 【○は1つ】

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 日本語ができるようになった | 2 仕事や学校に行くため時間がなくなった |
| 3 その他（具体的に      | ）                    |



問19 病院には、誰と行きましたか。【〇は1つ】

- 1 日本人の家族                      2 1人で行った                      3 その他（                      ）

問20 病院に行ったとき、困ったことや不安を感じたことはありますか。【〇は5つまで】

- 1 問診票や入院書類の記入                      2 体の状態を詳しく説明すること  
3 医師や看護師から説明を聞くとき                      4 薬の説明を聞くとき  
5 院内の案内看板が読めないとき                      6 書類の内容が分からず読めない  
7 その他（具体的に                      ）

問21 次のうち、医療サービスとして希望することは？ 【〇は3つまで】

- 1 通訳                      2 案内板の多言語表記  
3 問診票や入院書類の多言語表記                      4 問診票や入院書類にひらがなを振ること  
5 その他（具体的に                      ）

問22 病院やクリニックにかかるとき、通訳制度があったら利用しますか。【〇は1つ】

- 1 利用したい                      2 利用しない

↓  
有料の通訳制度でも利用しますか。【〇は1つ】

- 1 利用したい                      2 利用しない

問23 病院やクリニックに希望することや特に困っていること、日本の病院の印象など、ご意見があればお書きください。

（空欄）





## 5 市の外国人支援について

問24 市の広報誌など、市から届くお知らせを読んでいますか。 【○は1つ】

- 1 はい（他の人から内容を教えてもらう場合も含まれます。）
- 2 ときどき
- 3 いいえ

読まない理由は何ですか。 【○は1つ】

- 1 日本語がわからない
- 2 自分には関係ない
- 3 市の広報が来ない
- 4 時間がない
- 5 その他  
( )

問25 市からのお知らせで、あなたが話せる言語で情報があればよいと思うものは？

【○は3つまで】

- 1 広報こぼやし、お知らせ版
- 2 健康診断のお知らせ
- 3 親子健康カレンダー
- 4 防災ガイドブック
- 5 避難所マップ
- 6 市の防災メール
- 7 ごみの出し方
- 8 その他（具体的に )

問26 市内に、外国人の方が憩う場所があればいいと思いますか。 【○は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない（具体的に )

場所は？ ↓ 【○は1つ】

- 1 市役所内
- 2 小林市駅周辺
- 3 その他 ( )

問26-1 何か困ったとき、だれに相談しますか。 【○はいくつでも】

- 1 友だち
- 2 家族
- 3 親戚
- 4 市役所
- 5 会社の同僚
- 6 教会
- 7 誰もいない
- 8 その他（具体的に )

問26-2 自治会を知っていますか。 【○は1つ】

- 1 自治会に入っている
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

問26-3 自分が犯罪や火事などにあったら、どうすればいいか知っていますか。

【〇は1つ】

- 1 知っている                      2 知らない

問26-4 地震、台風、洪水などの時、どうすればいいか知っていますか。 【〇は1つ】

- 1 知っている                      2 知らない

問26-5 自分の家の近くの避難所を知っていますか。

【〇は1つ】

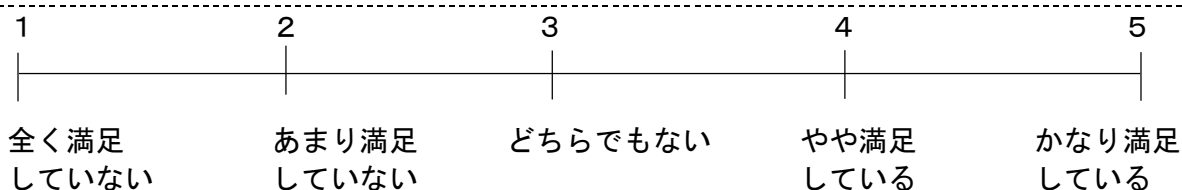
- 1 知っている                      2 知らない

問27 次のうち、外国の方にも暮らしやすい小林市にするために、必要だと思うことは？

【〇はいくつでも】

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1 多言語での情報提供       | 2 日本語の書類に、ひらがなをふる               |
| 3 日本語を勉強できる機会を増やす | 4 悩み事を相談できる場所がある                |
| 5 公共施設での通訳や翻訳     | 6 病院やクリニックでの通訳や翻訳               |
| 7 災害時の情報提供や避難支援   | 8 日本人と交流できる場所                   |
| 9 外国人同士が交流できる場所   | 10 その他 (                      ) |

問28 小林市に住んでみて全体的にどの程度満足していますか。【〇は1つ】



問29 普段の生活で頼りにしている方が、長期出張や入院などに家を不在にしたときに、あなたが不安に思うことは何ですか。 【〇はいくつでも】

- 1 電話の対応やごみ出しなど家事全般
- 2 家族の介護に際し、介護や福祉サービス利用情報を取得できること
- 3 子どもの保育園や学校、市役所等からのお知らせを理解して手続きすること
- 4 病院で、医師や看護師の説明を理解し手続きができること
- 5 代理として地域行事に参加できること
- 6 文化や習慣の違いを理解し、地域と関わること
- 7 その他 (具体的に                      )
- 8 特になし

ご協力ありがとうございました。  
この調査票は、同封した封筒に入れそのままご投函ください。  
なお、切手を貼る必要はありません。